

32
149

英國憲法沿革論
杉本清胤訳
上之卷

031425-000-2

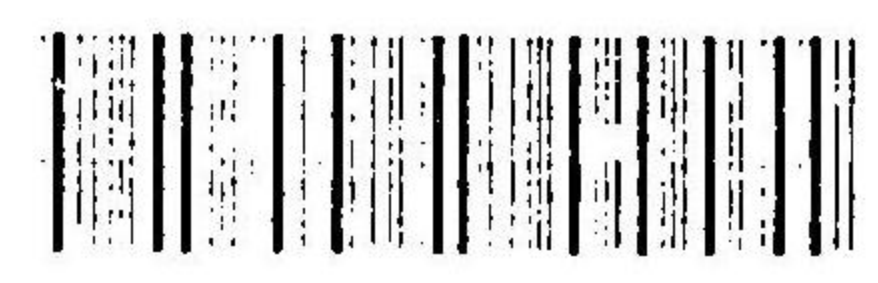
32-149

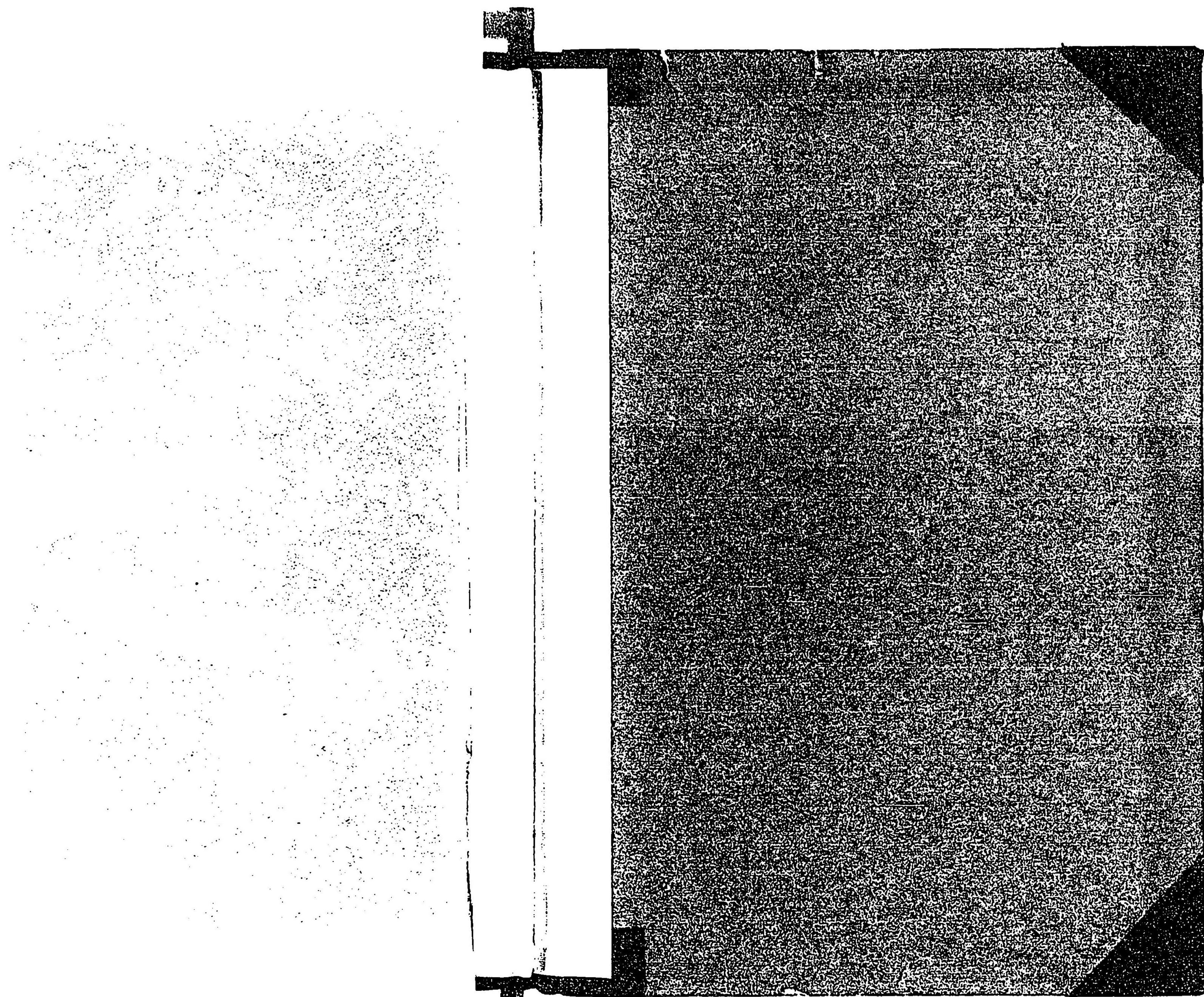
英國憲法沿革論 上之卷

エドワード・フリーマン/著

M16

BBE-0010





英國 非里曼氏原撰
 日本 杉本清胤譯述

英國憲法沿革論
 卷之上

明治十六年五月出版

英國憲法沿革論目次

- 英國自由ノ國憲ハ舊慣ニ基ク
- 古例ノ必要
- 太古賢者ノ集會
- 諾曼一統後ノ集會

○上院

○英佛ノ比較

○サイモン・デ・モン・ト・フォルト侯

○賢主暴君

○諾曼一統ノ影響

- 「アンデウヒン」王統
- 國事ト宗教ノ關係
- 權利法典
ビル・オブ・ライツ
- 下院ノ濫觴
- 都市ノ代議士
- 外國人有功于英國
- サイモン侯及ヒエドワード義德瓦太子
- 憲法完全ニ至ル
- 貴族
- 僧侶

- 平民
- 二局議院
- 三種族
- 議院ノ權力
- 諸州特權ノ減縮
- 顯理第八世ノ治世
- 風儀頽敗シタル都市ニ議權ヲ與ヘタル
- 自由ノ再興

英國憲法沿革論卷之上

英國 エドワード・フリーマン 原撰

日本 杉本清胤 譯述

○英國自由ノ國憲ハ舊慣ニ基ク

英國ノ國憲ハ他國ノ憲法ノ如ク決シテ殊更ニ議定創始シタルモノニアラス古ヨリ英國ニ於テハ實際ノ政ヲ純粹ノ政理論ニ求メ又ハ古今他國ニ行ハレタル政体ニ模擬シテ政法ヲ政体書ニ上セシアルヲナシ蓋英國ト雖モ固ヨリ大憲章マグナカルタ權利請願書ペチション權利法典コングレスライトビル等ノ如キ政憲ノ大章有テ政史

二

ノ面目ヲ革ムル者無キニアラサルモ是等ハ一トシテ新令ニ係ル者ナク皆英人カ當初得タル所ノ權利ヲ今一層明瞭ナラシメ今一層鞏固ナラシメンヲ請求シタルノ具タルニ過キサルナリ

古來政事上ノ大爭論アルニ方リ英國人民ハ曾テ一ノ新主義ヲ定メ新法ヲ行ハシメテ唱道セシメテ其論スル所ハ毎ニ現行法律ヲ今一層嚴正ニ履行センヲ求メ或ハ其徒法ニ属シタルカ爲メニ生シタル所ノ弊害ヲ除去センヲ求スルニ在ルノミ英國人民カ暴君約翰王ニ迫リ王ヨリ大憲章ヲ強取セシ迄ハ賢君義德瓦王ノ世ニ確定シタル法律

ヲ回復センヲ要求シ而シテ暴王モ止ラ得スシテ後世英國國憲ノ基礎トナルヘキ此大憲章ニ鈐璽シタルヨリ以後人民ハ復タ更ニ之ヲ嚴正ニ履行センヲ要求セリ此大憲章ナル者モ決シテ此時ニ新設セルニアラス唯先王義德瓦王ノ法律ニ新修飾ヲ加ヘタルニ外ナラサルナリ

英國ニ於テモ時々改革ヲ行ヘリ然レモ其改革ハ唯舊物ヲ保守シテ開進ヲ謀リタルノ改革ナリ蓋開進ヲ謀レハ必ラス保守ナカルヘカラス保守ナキノ開進ハ躁急ニ失ス保守セント欲セハ又必ラス開進セサルヘカラス開進ナキノ保守ハ守舊ニ失ス故ニ英國ノ改革ハ唯古ノ政理ニ憑據シ時

三

四
ノ形勢ニ應シ決シテ舊構ヲ破壊シ新築ヲ起シタルニアラ
ス唯精細ニ注意シテ之ヲ修繕シタル者ナリ

○古例ノ必要

英國法律ノ精神トシ命脉トスル所ハ唯古例ニシテ英國人
民ノ主張スル所ハ凡テ一ト度先人ノ行ヒタル事ハ其子孫
亦之ヲ行フノ權アリト云フニ在リ故ニ英國國會ニ於テ惹
迷斯^{モリス}第二世ヲ廢シタル時モ敢テ人間權利ノ說ヲ張リ抵抗
權利ノ論ヲ唱へ以テ自己ノ所爲ヲ分疏セント謀リタルニ
アラス唯其根據トスル所ハ三百年以前ニ於テ吾英國國會
ハカ^リ查^リ王^リ第二世ヲ廢シタル^リアリト云フニ在ルノミ

五
英國ニ於テハ此ノ如ク唯古格ヲ株守シ先輩ノ故智ヲ踏襲
シ勢萬止ヲ得サルニ方テ之ヲ改革シ決シテ眞ノ理論ヲ楯
トシテ漫ニ改革ヲ行ヒタルニアラス是故ニ英國ノ進歩ハ
或ハ寬緩ノ謗ヲ免カレサルモ其進歩ハ極メテ着實ナレハ
或ハ一朝其歩ヲ誤ル^トアルモ猶之ヲ回ラシテ舊ニ復スル
ヲ得タリ蓋此復舊ノ功驗即チ其非ヲ悟テ之ヲ釐革スル
所ニ於テハ余ハ茲ニ之ヲ特書セント欲スルナリ試ミニ看
ヨ英國憲法ノ今日ノ如ク發達シタル踪跡ヲ尋ヌルニ其成
文不文ヲ問ハス近世善美ト稱スル法律ニシテ上世ノ制ニ
復シタルモノ果シテ幾何ナルヤ知ルヘカラサルナリ

○太古賢者ノ集會

凡テ國ノ形勢猶未タ代議政体ノ何タルヲ知ラス自由人民
 書中自由人民トハ良民ヲ云フ奴隸トハ舉テ親カラ立法者
 區別スルノ稱ナリ以下コレニ準スハ舉テ親カラ立法者
 ト爲リ親カラ選舉人ト爲テ其權ヲ行ハサルヲ得サルノ時
 ニ在テハ版圖ノ増加スルニ隨ヒ之ヲ實際ニ適用スルヲ愈
 難ク終ニ政治ノ實權ヲハ少數人民ヲ舉テ其手中ニ委ヌル
 ニ至ルヘシ古昔底特尼人種往古日耳曼ノ北部ニ住シタル
チニトニツク人民ニシテ即チ蘭人英人等ノ
 祖始ノ集會ニ於テモ亦自由人民ハ舉テ其集會場ニ出席スル
 ノ特權ヲ有シタルヤ疑ナカルヘシ英國ニ於テモ亦然リ自
 由人民ハ「シエーヤ」英國土地ノ區畫ニシ「ハンドレット」シエー
テ即チ一州ノ如シ「ハンドレット」シエー
ヤ」中ノ

小區「マーク」英國古昔土
地ノ區畫等ノ如キ地方ノ小集會ニ於テハ各
 自皆出會ノ權ヲ有セシモノナルヘシ而シテ今代新制法ノ爲
 メニ全ク古制ヲ掃蕩セラレヌ古「マーク」集會ノ遺影猶存ス
 ル處ニ於テ即チ「ペリシユ寺區」ノ集會ニ於ケルカ如シ自由人民ノ舉
 テ臨場發言スルノ權アルハ即チ古昔有セシ所ノ權利ヲ證
 スルニ足ルナリ

然ルニ古英國ノ大集會即チ所謂全國賢者ノ集會ニ就テ其
 組織奈何ヲ考察スルニ本會ノ成憲ニ就キ今日文獻ノ徵ス
 ルニ足ル者少ク唯一般ニ之ヲ賢者貴族大人ノ集會ナリト
 汎稱スレモ然カモ猶此外本會ニ關シ頗ル民權ノ種子ヲ含

八

有スル文字無キニアラス縱令ハ義德瓦王ヲ選舉シタル者
ハ天。下。庶。民。ナリ或ハゴットウヒン侯ハ國王並ニ衆庶ノ前
ニ演說シタリト云ヒ此外又屢倫動ノ人。民。ハ云々温折斯德
ノ人民ハ云々ト直接ニ人民社會ノ政治場ニ現出シタル狀
況ヲ記載セシフ多シ是ニ由テ推究スレハ古自由人民ノ舉
テ英國國會ニ臨場シ發言スルノ權利ハ決シテ公然剝奪セ
ラレタル者ニアラサルヲ知ルヘキナリ

然レモ此權利ハ直接ニ一身一家ノ利害損益ニ關スルニア
ラスシテ社會公益ノ爲ニスル者ナレハ自由人民ナレハト
テ常ニ舉テ此權利ヲ使用シ得ラルヘキニアラス苟モ富有

九

者ニアラサレハ有用ノ日子ヲ徒費シテ會議ニ臨スルノ餘
裕アルヲナク一身ヲ舉テ社會ノ安危ニ任スル者ニアラサ
レハ能ク山河ヲ跋涉シテ會場ニ趨クノ思念ヲ起スアルヲ
ナシ當時ノ會議ハ通常味斯閔斯德温折斯德又ハ格羅斯德
等ニ於テ催シタル者ナレハ尋常一樣ノ事件ニ就キ北方自
由人民カ長途ヲ厭ハス舉テ之ニ臨スルヲアラサリシナラ
ン故ニ通常會ニ出席スル者ハ諸侯伯高僧官吏若クハ富豪
ニシテ勢力アル紳士等僅々數人ニ過キサルヘシ然リト雖
モ若シ一朝國家ノ利害安危ニ關スル一大事件ノ起リテ天
下ノ耳目ヲ注クヲアレハ數多ノ自由人民ハ皆袂ヲ拂フテ

十

之ニ臨會セシヤ明白ナリ而ソ又集會ヲ一都府ニ開キタル時其都府中ニ住スル良民即チ自由人民ハ勿論直チニ之ニ出會シタルナルヘシ

是故ニ英國古昔ノ國會ニ就テ記載セル所ヲ觀レハ往々反對ノ點ニ立カ如キ言語アリ豪族會議ノ如キ意味ヲ含ム者アリ又ハ純粹ノ民會ノ如ク記載シタルハ蓋上文ノ事理ニ由テナリ然レモ古昔ノ主旨ニ於テ本會ハ徹頭徹尾民會ニシテ唯平常ニ於テユソ豪族會議ノ如クナレ一度人民ノ此ニ熱心スルヲアレハ忽地ニ古昔民會ノ性質ニ復スルヲ得ヘキ者ナリ概シテ論スルニ政府ノ干涉ヲ受ケズ自由ニ

選舉シタル代議士ノ議定シタル法律ハ即チ全國人民ノ定メタル法律ナリ苟モ然カラズノ代議士ニアラサル者ノ議定シタル法律ハ全國人民カ其會議ニ臨スルノ權利ヲ有シナカラ平常之ニ臨會セス其權利ヲ少數ノ者ニ委シタル時ニアラサレハ決シテ之ヲ全國人民ノ設ケタル法律ト云フヘカラサルナリ

○諾曼一統後ノ集會

賢者集會モ諾曼人英國一統ノ時ニ方リ其成憲早ク已ニ變更シテ舊規ノ存スル者殆ト少カリシカ是ヨリ遂ニ一變シテ忽チ今日ノ議院ヲ化出スルニ至レリ然レモ當今議院ノ

一十

一局即チ上院ハ唯ユノ賢者集會ヨリ化出セリト云フニ止
ラス看ヨ今日上院ニ臨席スル人ハ古賢者集會ニ臨場シタ
ル人ト同一ノ資格ニシテ今日ノ上院ハ即チ古ノ賢者集會
ナリト謂フヘシ

今日ノ上院ト古ノ賢者集會トハ互ニ相聯絡セシ者ニシテ
其變遷セシニアラサル所以ハ第一世維廉王ノ招集シタル
國中ノ賢者ハ是ヨリ先キ義德瓦王ノ招集シタル國中ノ賢
者ト同一ナリ又維廉王ノ世ニ方リ有名ナル國會ノ一ニ於
テ國中地主全体臨席シテ國中ノ紳士ヲ助勢シタリト見ヘ
其數ハ傳記ノ傳フル所ニ據レハ六千人ナリト謂フ然レモ

維廉王英國一統ノ後一百余年ノ間國會議員ノ數ハ太古賢
者集會ノ數ト均シク頗ル分明ナラス且ツ其増減モ亦常無
キカ如シ

○上院

上院ノ組織ハ凡テ自然ニ成リタル者ナレハ更ニ奇怪目チ
驚カスヘキ變革等アルヲナシ其議員ノ世襲ナルモ亦人意
ノ故造ニ出タルニアラス星霜ヲ經過スルニ隨ヒ偶然ニ成
リタル者ナリ然ルニ斯ク上院議員ハ世襲ナリト雖モ讀者
ハ以テ高僧カ上院ノ議席ヲ占ムル間其議員ハ舉テ世襲ナ
ルニアラス其世襲ナルハ唯公侯貴族ノ一部ニ止ルヲ銘

記セサルヘカラス

予ノ所見ヲ以テスレハ英國人民中兩貴族即チ侯伯高僧ハ其始メ凡テ他ノ自由人民ト共ニ國會臨席ノ權利ヲ共有シ爾后其權利ヲ失墜セス而ソ又往時ニ於テ英王ハ此等兩種族ノ外其意ニ任シ時々議院ニ他ノ自由人民ヲ招集シタリ蓋有名無實トハ云ヘ自由人民舉テ議會ニ出ツヘキ權利ヲ有スル時國王カ貴族ノ外特別ニ他人ノ臨場ヲ要スルニ際シ故サラニ其人ヲ招集スルノ權利アルハ勿論ノコトニシテ決シテ怪シムニ足ラス然ルニ今此ノ如ク特別ニ招集セラレタル者ハ漸々特別ノ權利ヲ付與セラレ而ソ又之ニ反シ

テ其招集ニ與カラサル者ハ一切此權利ヲ付與セララルヘキ限ニアラサルナリト看做サル、ニ至ルハ是亦自然ノ勢ナリ然リト雖モ此ノ如キ招集ニ由リ世襲ノ權利ハ勿論其他唯數年間其招集セラレタル人一身ニ附帶スヘキ權利ト雖モ之ヲ付與セララル、ニ至リタルハ決シテ一朝一夕ノ事ニアラス蓋常員ノ侯伯及ヒ高僧ノ外ニ英王ハ每會必ラス他ノ紳士ト劣級ノ僧侶トヲ招集シタレモ每會其人ヲ異ニシテ決シテ常ニ同一ノ人ヲ招集セシコトナシ

特別ノ招集ニ由リ特別ニ世襲ノ權利ヲ與ヘシハ是レ全ク法律家ノ發明ニ係ル者ナリ蓋法律家ノ發明ニシテ英國憲

法ニ混シタル者其他猶枚舉スルニ遑アラス然リ而ノ斯ク一旦世襲權利ノ論定リシヨリ之ニ次テ勅宣ニ由リ公ニ新貴族ヲ造ルハ是亦自然ノ順序ナリ今此ノ如ク歷史上ヨリ觀察スレハ今日英王カ終身貴族ヲ造リ又ハ最良ト思考スル方法ヲ以テ貴族ノ世繼並ニ借地方ヲ釐整スル權力ニ就テ疑怪ヲ懷ク者アルハ予ハ唯之ニ驚愕スルノミ

上文ノ如クナルカ故ニ今日ノ上院ハ即チ古ノ賢者集會ナリト云フトモ復タ不可ナルヲ無キカ如シ實ニ今日ノ上院ハ往昔自由人民ノ舉テ臨會スヘキ權利ヲ有セシ集會ノ急激ノ變ヲ受クルヲナク唯時機ニ觸レテ徐々ト變遷シ終ニ

國王ハ其好シトスル所ノ者ヲ招集シ而ノ奇怪ニモ其一旦招集シタル者ノ嫡子ハ國王復タ之ヲ招集スルヲ否ム能ハサルノ一種世襲官會トナリタル者ナリ

凡テ自餘ノ事ト均シク本會ノ變遷此ニ至ル者ハ其勢既ニ維廉王英國一統ノ前ニ見ハレタリシカ終ニ一統後之ヲ大成セリ然リト雖此ノ如ク古ノ國會ヨリ變遷シタル議會即チ上院(代議院ニ反對シタル貴族院)ハ夫ノ人民ニ代テ輿論ヲ表スル代議院即チ下院ノ興起スルニ至ルマテ充分ニ其功用ヲ呈スルヲ能ハサリシ

英國ノ政度ハ凡テ自然ニ成レル者ニシテ其性質ヲ異ニス

ル上下兩議院ノ如キモ亦然リ其實際政治家ノ修正改良ヲ加ヘタルニ因ル者アリト雖、然カモ一トシテ理論家ノ發明構造ニ係ル者アルヲ見ス吾英國先輩ハ凡テ事ヲ興スニ始ヨリ理論ヲ以テセンコトナシ然レモ何レノ時代ヲ問ハス必ス如此細目ノ變革ヲ行ヘハ如此直接ノ妨害ヲ除去スヘク又如此改正ヲ行ヘハ如此直接ノ利益ヲ興起スヘキヲ察スル一慧眼ノ人アリ加之ノミナラス時トシテハ故造ノ惡意ヲ以テ行ヒタル改革モ其結局却テ善良ノ功ヲ奏セシコトアリ又或ハ王權ヲ赫耀センカ爲メニ行ヒタル事業ニシテ其極却テ民權ヲ擴張スルニ至レルコトアリ又之ニ反シテ一

時ハ必要ナル目的ヲ達シ善良ナル結果ヲ生シタル組織モ星霜ヲ經過スルニ隨ヒ其性質ヲ變シ却テ災害ノ機械ト爲リタル者アリ雖然吾英國先輩ノ組織ニシテ孰レモ純粹ノ理論ニ基キテ構造セシ者アルコトケレハ皆之ヲ永世ニ傳ヘテ朽ルコトナク常ニ最好ノ果ヲ結フニ至レリ是故ニ英國ノ國會ハ古來其名義若クハ其成憲ヲ改革セシコトアルモ其國會ハ依然タル國會ニシテ今ニ至ルマテ間斷アルコトナシ英國人民ハ敢テ破壊セス能ク改良スル者ト謂フヘシ

○英佛ノ比較

佛國ハ英國ニ異ナリ凡テノ政度純然タル理論ニ成リ善惡

共ニ人ノ意中ニ出タル人造物ニ外ナラス英國國會ノ起原ハ今得テ知ルヘカラス萬事皆舊套中ヨリ徐々ニ變化シ來レル者ナリ佛國ハ然ラス事ノ舊套ニ属スル者ハ悉皆捨テ顧ミスステイツ全國大民會貴族僧侶平民ヨリ組織ノ如キ全國大民會タル佛國國會ノ名ノ如キ全ク佛王非立弗ヒリック第四世ノ勅定ニ由テ成立シタル者ナリ十四五世紀ノ英人ハ權利又ハ仁道等ノ理論アルヲ知ラス唯實際上妨害アル者ヲ見テハ之ヲ除去センコトヲ要セリ之ニ反シテ十四五世紀ノ佛國人民ノ理論ニ於ケルハ恰モ千七八百年代ノ佛人カ講スル所ト異ナルコトナク既ニ丁寧ヲ極メ當時蚤ク自由ノ爲メ仁道ノ爲メニハ身ヲ犠牲ニ供ス

ルコトヲ知レリ故ニ佛國ノ政度ハ常ニ永續スルコトナク彼ノ大民會ノ如キモ僅ニ數年間一時ノ命脉ヲ保シタルノミニシテ大革命ニ至テ全ク滅盡ニ歸セリ爾後立法行法ヲ問ハス其政度能ク二十年間ノ命脉ヲ保シタルコトナシ蓋シ英國ト歐洲大陸諸邦ノ間ニ此ノ如キ差異アル所以ハ大陸諸邦豪傑ノ士少キカ爲メニアラス又其目的高尚ナラサルカ爲メニアラス予ノ所見ヲ以テスレハ二原因ノアルアリテ一ハ兩國ノ人民天資異ナルニ由リ一ハ兩國間諸種ノ進歩ニ於テ其進路ノ異ナルカ爲メニ由ル者トス佛國累世ノ王ハ徐々ニ古昔自由政度ノ痕跡ヲ蕩盡シテ單純ナル壓制政治

ナ創始シタレハ佛國人民ハ復タ據ルヘキノ舊基礎ヲ有セ
 ス故ニ其改革スル所ハ善トナク不善トナク更ニ新基礎ヲ
 求テ之ニ據ラサルヲ得ス英國王ハ曾テ其自由政度ヲ廢セ
 シヲナク唯方便ヲ用ヒ之ヲ轉用シテ自己ノ目的ヲ達シ自
 由政度ノ外形ヲ破毀セスシテ實際ノ壓制政度ヲ創始セン
 トス夫レ其外形ハ常ニ生存スレハ天運ノ循環ニ際シ復タ
 自由ノ實体ヲ以テ之ニ填ムルヲ得故ニ英國人民ハ其舊
 主義ヲ失ハス常ニ復タ據ルヘキノ舊基礎ヲ保有セリ是レ
 英國上下兩議院ノ權力職掌及ヒ其國王國民ニ於ケルト並
 ニ兩院相互ノ關係上ニ些少ノ變更アルモ其全体ハ依然ト

シテ生存シ決シテ滅裂破碎ニ至ラサル所以ナリ之ニ反シ
 佛國ニ於テ國會國民議會アッセンブリー。コンヴェンション。ヨシチヤンバー。オズヂェニチー。レカスレ。アボヂー代議院立法議院等ノ起仆廢立
 シタルハ殆ント屈指ニ遑アラサルヘシ

○レースター侯千二百零六年誕生
千二百六十五年薨

以上述ヘシ所ノ如ク英國ノ憲法ハ殆ント自然ノ法則ニ隨
 テ發達セリト雖モ猶其發達上ニ與リテ力アル一政事家ア
 リ今其人ノ深謀遠慮及其愛國心ノアル所ヲ舉テ茲ニ特書
 セサルヘカラス大凡ソ萬事萬物時ト昇降スルノ狀況アリ
 旣ニ其狀況アレハ必スヤ又其狀況ニ處スル一慧眼ノ人ア
 ルヘシ所謂英國ノ憲法ハ自然ニ成リテ始ヨリ創立者ト稱

スルモノナシト雖モ然カモ今斯人ヲ舉テ創立者ノ榮名ヲ
 與フルモ殆ント不可ナル無キカ如シ蓋英國カ今ヲ距ル六
 百年已來ノ進歩ハ全ク斯人ノ力ニ由レル者ナリ顧フニ當
 時英國ニ於テ斯人アラサルモ其進歩ハ猶駸々乎トシテ止
 マサルヘシ又斯人ノ世表ニ立テ偉略ヲ施サ、ルモ萬事萬
 物ハ猶彼カ如ク其處ヲ得タルナルヘシ又ハ斯人ノ崛起ス
 ルヲ微セハ必スヤ又他ニ屹立シテ此事業ヲ興スノ人アル
 ヘシ然リト雖モ予ハ今此ノ如キノ臆測ヲナサス唯英國ニ
 人傑アリ出テ此偉業ヲ樹タリ而シテ紀元一千二百年代ハ實
 ニ古今ノ奇代ニシテ宇内ヲ舉テ廢スヘキヲ擠シ興スヘキ

ヲ扶ケ狂瀾啻ナラサルニ際シ獨英國ハ唯其興ヲ扶クルノ
 時ニシテ廢ヲ擠スノ時タラサリシハ全ク此傑士ノ力ナリ
 ト云フヲ以テ足レリトス抑モ斯人ヤ英國國憲ノ爭論囂々
 タリシ時ニ方リ身ヲ以テ國ニ許シ遂ニ英國ノ自由ヲ再
 ヒ磐石ノ安キニ致サシメタルノ傑士ニシテ是レ乃チ他ニ
 アラスレースター侯(サイモン)デ(モン)ト(フォ)ルト氏ナリ果
 ソ侯ヲ以テ英國國憲ノ創立者ト看做スヘカラサルモ學者
 猶侯ヲ推尊スルニ下院ノ創立者ヲ以テス英國下院ヲシテ
 今日アルニ至ラシメタル者侯ヲ措テ將タ誰ヲカ求メンヤ
 英國ノ自由將サニ再生ノ萌芽ヲ發セントスルノ時ニシテ

其萌芽ヲ養育シ不朽ノ好果ヲ結ハシメタルハ職トシテ侯
ノ力ニ是レ由レリ

○賢主暴君

此ノ如ク英國ノ自由ヲ再興シタル其人實ハ英人ニアラサ
リシハ太ダ奇ナルカ如クナレ_レ亦決シテ然ルニアラスサ
イモン侯ハ本ト佛人ナリ氏カ其事業ヲ本國ニ樹ル_レ能ハ
ス_レ却テ之ヲ英國ニ樹立シタル所以ハ當時佛王ハ_聖路易
トナン呼ハレ最モ正義ノ聞エアリ正路ノ外ハ一步モ誤ル
_レナク一ト度他人ト盟約セハ縱令災其身ニ及モ決シテ顧
ミサルカ如キ方正謹直ナル王ニシアレハ是時ニ於テ大改

革ヲ行ヒ又ハ人心ヲ離反セシムルカ如キノ餘地アラス蓋
路易王ハ斯ク俯仰天地ニ愧サルノ徳アリテ佛國王權ヲ隆
盛ナラシメシハ他王ノ遠ク及サル所ニシテ然カ_レ後世子
孫暴虐壓制ヲ逞フシ王ヲシテ知ルアラシメハ殆ント愧死
セシムヘキ苛政ヲ布クノ基礎ヲ置キタルモ亦遠ク他王ノ
上ニ出タリ

顧ミテ英國ヲ視レハ暴虐無道ノ君國ニ臨ミ一時災害ヲ蒙
リシ_レアルモ却テ之カ爲メニ永世幸福ノ基ヲ開ク_レ得
タリ夫レ英王ニシテ英國ノ情態ニ疎ク胸ニ英國魂ヲ有セ
サルノ君無キニアラサルモ吾先輩ハ如此ノ際ニ臨ミ王ノ

窮乏ニ乘シ自由ヲ復スルヲ得而シテ其自由タルヤ着々
 歩ヲ逐フテ進ミ一朝暴進スル者ニアラサレハ其結果モ亦
 唯榮ヲ一時ニ競フノ比ニアラス昔拉丁詩人ノ言ニ自由ノ
 盛ヲ極ルハ上ニ方正ノ君アルノ時ニ若クハ莫シト方正ノ
 君上ニ在リ淵々穆々手ヲ拱シテ立ツ是時ニ在テハ實ニ其
 レ然ラン然レモ之ヲ永世ニ傳ヘテ易ラサル真正ノ自由ヲ
 得ルハ上ニ方正ノ君アランヨリモ猶或ハ惡虐ノ暴君アル
 ヲ要スルヲアリ彼ノ一時假死シタル英國ノ自由モ「アンヂ
 ウ」王統「フラン「タ」家ノ支裔」ノ虐政ノ爲メニ再ヒ蘇生シタル
 ニ非スヤ

○諾曼一統ノ影響

ノルマン、エングランド

サイモン「デ」モン「ト」フォル「ト」侯ノ功業ハ英國ノ近世史上ニ
 赫々トシテ若シ今日ノ英人侯カ永世不朽ノ芳名ヲ聞テ愛
 敬ノ情ヲ起サ、ル者アラハ是レ即チ一無情ノ人ナラン然
 ルニ今充分ニ侯ノ功業ヲ熟知センカ爲メニハ猶往時ニ遡
 リ嘗テ英國ヲ襲來シタル入寇者即チ諾曼人ノ權力ハ蚤ク既ニ
 外國救世者即チサイモン「デ」ノ功業ヲ樹立スルノ進路ヲ開
 キタル所以ヲ討究セサルヘカラス

諾曼人襲來ノ時ニ方リ英國國憲ノ狀体奈何ンタリシハ業
 已ニ之ヲ言ヘリ而シテ讀者又此襲來ハ當時ノ英國國憲ニ就

テ直接ノ變革ヲ爲サ、リシトテ記憶セルナルヘシ然リ而シテ此襲來ノ爲メニ英國歴史上ニ永久ノ影響ヲ存セシハ維廉ウヰルリアム王ノ人ト爲リ並ニ王ノ地位ニ若クモノナシ蓋王ノ功業中其重要ナルモノハ凡テ立法者タルノ資格ヲ以テシタルモノニアラスソ其大業中ノ大業ト稱スヘキハ古ヨリ未タ統一セサルノ英國ヲ全ク統一シ後人ヲソ夢想ニモ復タ之ヲ分離セントノ念ヲ醸ス丁能ハサラシムルノ一團結体ト爲シタルニ在リ然レモ此業タルヤ決メ直接ノ法律ヲ以テシタルニアラスシテ唯外國襲來ノ壓迫ヨリ自然ニ生シタルノ結果ナリ

維廉王ウヰルリアムノ畢生ノ政略モ亦之ニ外ナラス王ハ實ニ英國ヲ征服シタル者ナリ劔鋌ニ賴テ立ツ者ナリ然レモ王ノ目的ハ終始此事實ヲ韜晦スルニ在リテ其英國王位ヲ窺寄セシハ適當ノ權利ニ賴ル者トシ其之ヲ得シハ人民ノ公撰ニ出ルト爲シ踐祚ニハ英國高僧ヲシテ其玉冠ヲ捧セシメ又其政權ヲ執ルニ方テハ曰ク朕ハ朕カ一個ノ意ヲ以テ國ヲ治ムルニアラス又朕カ創始シタル法律ニ因テ治ムルニモアラス朕ハ朕カ同族ノ先王義德瓦王エドワードノ法律ニ因テ治ムル者ナリト而シテ維廉王朝ノ直接ノ大變革ハ實ニ法制上ニ據ルニアラスシテ唯英國中ノ大采地ト樞要ナル顯職ノ外人ノ手

ニ移リタルカ爲メニ起レル冥々ノ變革ナリ但シ之カ爲メニ生シタル一時ノ影響ハ英國固有ノ人民ヲシテ征服者ニ隸屬シタルノ感覺ヲ起サシメタルニ在リト雖モ然レモ到底ノ結果ハ此等勝者ヲ化シテ英人ト爲シ英國自由ノ精神ヲシテ益々確乎不拔ノ勢ヲ成サシメタルニ在ルノミ

今此ニ諾曼一統ヨリ一二世ノ間ニ在テ諾曼地主ノ實況奈何ンヲ尋ヌルニ其人皆英國ニ生レ中ニハ英國婦人ヲ母ト爲ス者多ク縉紳侯伯ヲ除クノ外凡テ英國固有ノ地主ト同等ノ權ヲ有シ英國ノ法律ニ隨テ英國ノ土地ヲ有シ其他又各種ノ事情ニヨリ英國ノ法律ヲ學ヒ英國ノ法律ヲ奉シ英國

ノ法律ヲ行ハサルヲ得サルニ至ル故ニ其言語其感情直ニ彼ノ純粹ナル塞爾達血統ノ英人塞爾達血統ノ英人ハ即チ不列敦人ニシテ英國固有ノ人ト殆ント同一ナルヲ致セルヲ以テ其實際手ニ干種ナリ又ヲ執テ英國ヲ侵奪シタル者モ終ニ英國固有ノ人民ト其運命ヲ共ニスルヲ致セリ是レ此征服者ハ其言語ハ佛人ナルモ其感情ニ至テハ素ヨリ英人ニ與スルモノ多シ蓋シ諾曼人ハ素ト「ダニシユ」人ニシテ即チ「ダニシユ」人カ「魯盧國」佛國名ニ假住シタル間僅ニ佛朗西人ノ性質ヲ假扮シタルニ過キサレハ其英國ニ來ルニ及ンテハ其假扮ヲ脱シテ本性ニ復スルニ過キサルノミ「ダニシユ」人ハ即チ「ウ」トニツク「人種」ニシテ紀元八九百年ノ際英國ニ

入寇シ英國固有ノ人民即チ不列敦人ヲ征服シ後遂ニ英國ニ住シ安召羅撒遜ト稱シテ不列敦人ト雜居シ全ク英人ノ資格ヲ帶ヒタリ之ヲ第二ノ英國固有人民トス凡テ諾曼人ニ對シ英國固有ノ人民ト稱スルハ此兩入種ヲ併セ謂フモクナリ因ニ云フ英國ニ於テチウトニッ

ノ入種ノ祖ハ即チ此ニシユ人ナリ

バーユークークーダンス等ノ如キ諾曼本部ノ地方ニ於ケル諾

曼人ノ血統ハ英國東北諸州ニ於ケル英人ノ血統ト殆ント

同一ナリ試ミニ佛國ノ兵士ト諾曼ノ農夫トヲ併列シテ之

ヲ觀レハ一目シテ諾曼人ハ唯英人ノ久シク本國ヲ離レタ

ル者タルニ過キサルヲ知ルヘシ且ツ諾曼人ノ性質慣習等

ノ全体ヲ舉クレハ約克州林岡州共ニ英國等ノ人民ニ偶佛

語ヲ用ユルノ弊風ヲ生シタル者ト全ク異ナルヲナシ故ニ

今此種ノ人民ヲシテ英人ニ變セシムルハ決シテ困難トセ

サルナリ

當時諸學者ノ論定スル所ニ據ルニ維廉王英國一統ノ後一

百余年ノ間ニ於テ上ニ縉紳貴族ヨリ下モ田夫野人ニ至ル

マテ上下舉テ英諾兩人民間ノ區別ハ全ク忘却シタル者ノ

如シト蓋諸學者ノ論定ハ皆偶然ニ出タル者ナレト諸說ノ

一致セル恰モ符節ヲ合セタルカ如シ

○アンヂエウヒン王統

維廉王英國一統ヨリ一白余年ノ後ニ至テ又英諾兩人民ノ

子孫ヲシテ愈親密ナラシムルノ一原因ヲ生セリ第二世顯

理王ノ君臨スルヤ皇母ノ血性ヲ嗣テ英諾兩血統ヲ合併シタル者ト云ヒ(其實王ノ出處性質共ニ英ニアラス又諾ニモ非ス)皇母ヨリ諾英兩國ニ君臨スルノ權利ヲ繼續シ皇父ノ權利ヲ續テハ安如侯ト爲リ又皇后ノ權利ニ賴テアツクイ
 テーン侯ト爲レリ王ノ世ニ方テ其版圖ノ大ナルハ北オー
 クニ一島蘇國北方ニアル島界シ南必里尼斯山ニ達シタレハ英諾兩國ノ如キハ唯其版圖中ノ一部分タルニ過キス此終始公明正大ナル顯理大王ノ世ニ在テハ百般ノ弊害モ燭火ノ大陽ニ熄ムカ如ク其端ヲ發スル丁能ハサリシ
 王ノ世子力查王リチャードハ勇猛野猪ノ如ク頗ル外事ヲ好メリ而シ

國事ハ爲政ニ優ナル良宰相ヲ得テ之ニ任シ身ハ過半國ニアラサリシカ故ニ其英國ニ益セシ丁亦少小ニアラサルナ

約翰王及ヒ第三世顯理王二世ノ間ニ於テ英國ハ諾曼一統ヨリ生スル辛苦ト天福トヲ併セテ備サニ之ヲ嘗メリ約翰王ノ世ニ方リ英國ノ土地ハ外國人ニ蹂躪セラレ英國固有ノ人民ト初メ維廉王ウィリアムニ從テ英國ニ移住シタル諾曼子孫トハ相共ニ更ニ新外國人ヲ以テ其頂上ニ戴キ厚祿樞要ノ地ハ悉ク外國嬖臣ノ爲メニ占有セラレタリ然カソ英人ノ辛苦艱難ハ猶此ニ止ラス更ニ一層ノ凌蔑ヲ蒙リ且外國ヨリ

招集シタル雇兵ノ暴虐無道ニ苦メリ又當代ニ及テ諾曼的
 ハ佛王ノ回復ニ歸シ英王ハ復タ英國ヲ以テ其重ナル版圖
 ト爲スニ至レリ約翰王ハ言ヲ待タス顯理王モ亦此ニ鑒ミ
 ルコトヲ知ラス約翰王ノ暴モ顯理王ノ仁モ國家ニ在テハ
 皆同一ノ結局ヲ現出セリ蓋惡虐無道ヲ以テ後世ノ殷鑑ト
 爲リ卑屑ノ同氣同類ヲ諸國ヨリ集メタル約翰王モ亦温順
 玉ノ如ク皇母皇后ニ對シ畢生一ノ否ノ字ヲ發スル丁能ハ
 サルヲ以テ失德ト爲セシ顯理第三世モ究竟スルニ皆英國
 人民ヲシテ王室ニ抗衡スルノ心ヲ激セシメ血統ノ異同ヲ
 論セス英人舉テ親和連合シ遂ニ永世自由ノ國憲ヲ確定ス

ルノ大業ヲ起サシムルニ至レリ
 故ニ英國人民タル予輩ハ此等ノ王ニ對シ一謝ヲ述フルモ
 猶可ナリ然レモ予輩ハ亦德トシテ之ヲ謝スルニアラス吾
 英王中ニテ實ニ德トシテ謝スヘキハ爲政ノ要ヲ得タル丁
 顯理第二世ノ如ク一身ノ德ヲ備フル丁顯理第三世ノ如ク
 ニシテ且之ニ加フルニ外國人ニシテ吾英國ニ君臨セシ以
 來曾テ諸王ノ有セサリシ愛國ノ熱心ト政務ノ公平廉潔ニ
 シテ奪フヘカラサル王其人ヲ俟テ然リトス然ラハ則チ義
 德瓦第一世ハ其人ニシテ王ハ英人ノ有スヘキ心肝ヲ有シ
 後世英王中德トシテ愛重スヘキ第一明王ト謂フヘシ外人

○四 英國ノ大統ヲ嗣キシヨリ人民ノ歡心ヲ失セス平和ノ手段ニ賴テ國憲ヲ生長セシメタルモノハ獨此王ヲ以テ始メト爲ス

○國事ト宗教ノ關係

「アンヂェウヒン」統諸王ノ失政ニ因リ國中舉テ外人ノ政治ニ不服ノ心ヲ發セシハ既ニ前ニ言ヘル所ノ如ク又其宗教上ニ就キ膝ヲ屈シテ羅馬法皇ノ願使ニ隨ヒタルカ爲メニ更ニ一層人心ヲ離散セシメタリ(宗教上ノ爲メニ民心ヲ離散セシタル)亦前ノ失政ノ點ニ讓ラス予ハ敢テ此ニ宗教ノ正邪眞僞ヲ喋々スルヲ要セス然レモ當時一國宗教ノ地位ハ

青史上至大至重ノ條件タレハ徒ニ之ヲ看過スヘカラス古ハ宗教上ニ關シ英王ハ至大ノ實權ヲ有シタルヤ復タ疑カハス蓋シ英王ハ英國至大ノ實權ヲ有スレハ宗教上ニ於テモ亦至大ノ實權ヲ有セシハ自然ノ勢ニシテ王及ヒ王ノ參議官ハ國務ヲ處理シ國官ヲ沙汰スルノ權利ヲ以テ宗務ヲ處置シ宗官ヲ沙汰セリ高僧モ市長モ其任ハ同一ノ有司ヨリ命セラレ共ニ「シエヤ」ノ會議ニ上席シ其會議ニ於テハ權限ノ異ナル無ク互ニ宗俗ノ事務ヲ處分セリ

一四 維廉第一世ノ時ニ於テ英國法律上直接ノ改革ノ一ハ僧侶ノ裁判權ト市長ノ裁判權トヲ分離シタルト是レナリ今

日猶存在セル維廉王ノ法律ヲ閱スルニ其一條ヲ以テ歐洲大陸ノ式ニ隨ヒ宗教上ノ爭論ヲ處分スルカ爲メニ特別ニ宗教裁判所ヲ設立スルヲ命令セリ然レモ此ノ如キ法律上ノ改革ヨリモ諾曼一統ノ爲メ宗教上ニ就キテ實際猶一層緊要ナル結果ハ羅馬法皇ト英國トノ關係愈親密ニ趣キタルニ在リ維廉王征服ノ舉ハ始メ法皇ノ名ヲ以テ教正ヒルドフラント氏ノ認可スル所ト爲リ後々更メテ法皇親ラ之カ福ヲ祈レリ

維廉第一世ノ登極中王權ハ巍然トシテ他ノ干犯ヲ受クルヲナク縱令王カ其征服國即チ英國ニ於テ戰勝ノ餘威ニ乘シ

テ行ヒタル舉動無キニアラサルモ是レ又捷後自然ノ勢ニシテ深ク尤ムルニ足ラス要スルニ王ハ決シテ他ニ王權ヲ濫用セシトナシ雖然後世庸主暗君ノ位ニ登ルニ方テハ屢一國ノ代理者タル王權ヲ濫用シ隨テ又屢他ノ干犯スル所ト爲リ遂ニ古昔英國史上ニ聞見セサル宗教國事ノ權限ニ就キ一大爭論ヲ起スニ至レリ凡テ事ハ時ト勢トニ因テ異ナリ今日ニ在テ大ニ奇怪トスル者モ遼遠ナル當時ニ在テハ決シテ奇怪トセサルヲアリ是レ讀者ノ宜ク之ヲ心ニ記スヘキ所ナリ當時刑事ニ就キ僧侶カ政府ノ裁判ヲ仰カスシテ僧侶ハ別ニ僧侶ノ裁判ヲ施行セント冀望シタルモ當時

ニ在テハ決メ今日ノ如キ奇異ノ想ヲ爲サス又斯ク冀望シタル特權モ獨僧侶ノ身ニ止ラス尙ホ其力自己ノ一身ヲ保護スルニ足ラサル小民ヲ多ク此特權ノ庇蔭ヲ蒙ラシメタリ蓋アンデウ^エン朝ノ法廷ニ於テハ輕罪ト雖^レ顧慮スル^レナク之ヲ死刑ニ處シ或ハ之レヨリモ猶嫌惡スヘキ肉刑ヲ行ヒシヲ視レハ當時人民カ政府ノ法廷ニ刑セラレンヨリハ寧^レ教主ノ法廷ニ罰セラレン^レト好ミシハ亦故ナキニ非ス是レ教主ノ法廷ニ在テハ最重罪ト雖^レ笞罪或ハ禁錮ニ過キサレハナリ故ニ維廉^リ第三世ヨリ顯理^リ第二世ニ至ルマテ國王ト宗旨トノ爭論ニ於テ國民ハ每ニ宗旨ニ荷擔

スルノ傾向アリ特ニクラレンドンノ憲法於テ僧徒ヲ會シ宗旨憲章ヲ定メタル法ニシテ顯理^リ第二世ハ之ヲ實行セン^ト欲シ大僧正ト^マスベ^クケ^ツトハ之ニ抵抗シ一場ノ大風波ヲ生シタ中ニ領主ノ認可ヲ經スシテ領民ノ宗門ニ皈スル^ル者ナリ^ルトテ禁スルノ一ヶ條ヲ設ケタル時人民カ宗旨ニ荷擔シタルハ決シテ怪ムニ足ラス何トナレハ當時下等社會ノ人民カ名譽權カヲ得ルノ地位ニ昇ルニハ只宗門ニ皈スルノ一路アルニ今此禁アレハ是レ其僅ニ存スル一路ヲ遮斷セラレハナリ

約翰王^{ジョン}ノ時ヨリ宗教上ノ勢復タ一變シ羅馬法皇ハ英國ノ内事ニ干涉スルニ至レリ蓋此ニ至ルマテ法王ハ純粹ノ内

事ニ干涉スルト少ク若シ干涉スルトアルモ毎ニ人民ニ荷
 擔シタリシカ約翰王ノ末年ヨリ顯理第三世ノ治世中大ニ
 其勢ヲ變シ法皇英王ハ常ニ相聯結シテ英國ノ宗門及ヒ人
 民ニ反對セリ法皇ノ英國ニ對セシ良事業ハ實ニ法皇以諾
 森第三世カステッフェンラングトン氏ヲ英國ニ遣シタル時
 ナ以テ終局トヌ其後ニ至テハ法皇英王ハ互ニ相救援シテ
 壓制ヲ擅ニシ聚斂ヲ逞クシ法皇ハ常ニ英王ノ爲メニ力ヲ
 竭シ英國自由家ノ翹楚タル者ニ宗教上ノ譴責ヲ科セン
 ナ勉メタリ

大憲章モ羅馬ニ於テ排斥セラレ又其首事者ニシテ慷慨愛

國ノ主教者ステッフエンラングトン氏モ同シク羅馬ニ於

テ罰セラレサイモンデモントフォルト侯モ又禁宗ノ罰エキ

シマニケル者ハシヨンハ羅馬ノ最重罰ニシテエキチ蒙リ未ダ免除

ヲ得スシテ薨セリ雖然英國人民ハ決シテ宗教ニ惑溺スル

者ニアラス況ヤ豪膽不撓ノサイモンデモントフォルト侯ニ

シテ區々禁宗ノ罰豈能ク之ヲ障碍スルトナ得ンヤ英國人

民ハ僧トナク貴族トナク平民トナク血統ノ英諾タルヲ論

セス舉テ國王ノ外國嬖臣ト法皇ノ僭權ニ抗シ袂ヲ拂テ起

テリ蓋當時ノ史家ハ悉ク僧侶ニシテ就中羅馬宗徒多シト雖

モ皆異口同音ニ人民ニ荷擔シ且ツステッフエンラングト

ンリンコルンノロバートグロステストウスターノウワ
 ルター、オフ、カンテリユープノ如キ高僧モ皆人民ヲ救援保
 護シタル魁首ニシテ特ニグロステストウワルター兩氏ノ
 如キハ愛國無雙ノサイモン、デ、モントフォルト侯ノ親友ニシ
 テ且ツ其謀主ナリシト云フ

英國中貴族僧侶及ヒ平民ノ連名ヲ以テ羅馬法皇ノ非ヲ舉
 テ法皇ニ贈リタル尺牘ヲ讀メハ當時英國人民カ上下ノ區
 別ヲ忘レ舊讐ヲ捨テ血統ノ内外ヲ問ハス舉テ一大團結ヲ
 爲シタルノ狀況ヲ想見スヘシ其公論委曲眞ニ英國ノ法章
 ト稱スヘク之ヲ貴重スルノ史家猶今日ニ保存セリ云ク斯

ク貴族僧侶平民ノ名義ヲ以テ之ヲ草スト雖モ然カモ其共
 同ノ印章アラサレハ倫動府中ノ印章ヲ借用シテ之ニ捺ス
 ルモノナリト

○權利法典

ビル、オブ、ライ、ト

斯ノ如キ尺牘ニ倫動府中ノ印章ヲ使用セシトニ就テハ顧
 ミテ予カ既ニ前章ニ記載シタル即チサイモン、デ、モントフ
 ルト侯ノ與テ大ニカアル有名ノ憲法改革ノ事ヲ論セサル
 ヘカラス斯ク英吉利國民全社會ノ名義ヲ以テシタル公書
 ニハ倫動府中ノ印章ヲ捺スルニ若クハナシトスルヲ以テ
 之ヲ視レハ當時倫動府カ政治上緊要ノ地位ヲ占有シタル

ヲ見ルヘシ然リト雖モ倫勳府ノ此ノ如キ地位ヲ占有シタルハ全ク人民中崛起進歩ノ徒ノ多數ナルト英國中ノ都府都市ノ魁タリシトニ因テナリ然ルニ今サイモン・デ・モン・トルト侯ノ大事業ハ是等ノ都府都市ヲシテ各政黨ノ一原素トシテ其地位ヲ得セシメント欲スルニアリ

此ニ於テサイモン侯ノ創始セシ大事業ヲ達セシ順序ヲ尋ヌルニ古昔「キユートニック」人種中ニ行ハレタル政憲ハ十三世紀ノ頃ニ及テ全ク消滅セルカ如シ十二世紀中ニ在テハ其痕跡猶處々ニ顯ハレ縱令ハステツフセント「マチルタノ」戦争ニ於テ雙方王位ノ廢立ニ關シ倫勳市人ニ發言ノ權アリ

ル丁ヲ承認シタルカ如シ然ルニ上文言ヘル所ノ古昔賢者集會ナル良家ノ代議士ヲ以テ組織シタル定時ノ大集會ハ次第ニ退縮シテ當今ノ上院ト大同小異ナル議會ニ變遷セリ蓋當時議會ハ近代ノ上院ノ如キ確乎不拔ノ成憲アルニアラス又其世襲モ儼然タル世襲ニアラス然レモ其性質ニ於テハ今日ノ上院ト均シク復タ人民ノ代議士ヲ以テ自ラ任スル者ニアラサルナリ

權利法典ノ大章ヲ以テ國民及國會ハ國王ノ擅ニ法制ヲ設ケ租稅ヲ賦課スル丁ヲ抗拒スルノ權ヲ得タリ然レモ之ニ依テ決シテ國會ノ成憲ヲ變更シタル者ニアラス大侯伯ハ

其人ヲ指名シテ之ヲ招集シ國王直轄ノ地主ハ一般ノ令狀ニ因テ之ヲ招集セリ而シテ民權ノ原素ハ始メテ此ニ萌スルニアラス實際上蚤ク既ニ約翰王及顯理第三世ノ國會中ニ見ハレタリ

○代議院ノ濫觴

自由人民舉テ親カラ議會ニ出席スルノ權利ハ業已ニ有名無實ノモノト爲リ又國王直轄ノ地主ノ臨場スル權利モ遂次ニ實行スヘカラサルモノト爲リ遂ニ一變シテ各己レニ代テ事ヲ議ス代議士ヲ選舉スル實踐ノ選舉權トハナリ又凡テ英國ノ政度ハ星霜ヲ經ルニ隨ヒ徐々ニ變遷シタル者

ニテ今此選舉權ノ如キモ亦一朝一夕ノ故ニアラス屢々異變ニ遇スルヲ奇貨トシ之ヲ利用スルヨリ發生シタルモノナリ約翰王ノ在世中及ヒ顯理王ノ初年ニ於テ屢各州ノ代議士ヲ招集シタルアリ是ヲ各州ヨリ代議士ヲ出シタルノ濫觴トシ而シテ其代議士カ今日ニ至ルマテ猶保有スル州代議士ノ名稱始メテ起レリ是ニ至テ自由人民カ親カラ集會スルノ舊制全ク廢レ代議政体ノ新制乃チ起レリ然レモ斯ク州代議士ヲ招集シタル創始者モ決シテ其初メヨリ代議政体ノ理論ヲ究メ然レ後創始シタルモノニハアラス蓋シ當初其目的トセシ所ハ唯國帑歲入ヲ謀ルカ爲メナルヘ

シ實ニ歳入ヲ得ルノ方法ニ於テ至便至穩ナルモノハ此方
 法ヲ措テ復タ他ニ需ムル所アラサルニ至レリ
 全衆ノ人ニ代テ事ヲ行フ爲メ少衆ノ人ヲ招集スルノ考案
 ハ裁判上又ハ各種ノ検査或ハ委員等ノ慣行ヨリ得タルモ
 ノナルヘシ何トナレハ検査員委員等ハ常ニ一全シエヤ或
 ハ一全「ハンドレット」ノ人民ニ代テ誓約スル爲メ其人民中ヨ
 リ若干名ヲ選抜スル丁其常ナレハナリ是ニ於テ讀者ノ注
 意セサルヘカラサルモノハ吾英國ニ於テ裁判上ノ組織ト
 議院ノ組織ト最モ密着ノ關係アル丁ナリ蓋雙方共皆草昧
 ノ時ノ集會ヨリ發生シタルモノニテ又今日ノ陪審ト上院

裁判權ノ如キ頗ル別種ノ如ク見ユルモノモタシチウス氏
 ノ云ヘル如ク其實皆右ノ草昧ノ集會ニ委托シタル裁判權
 ノ片碎ナリ蓋當今ノ如ク判事陪審證人立法官ト各々全ク其
 職掌ヲ異ニスルニ至リシハ唯漸々ニ成リシモノニテ決シ
 テ一朝一夕ノ事ニアラサルナリ

○都市ノ代議士

レンレテアトシヨ
 ンクオフスライ

既ニ記載シタル如ク下院ノ議員ハ過半上院議員ト同シ種
 族中ヨリ選舉シタル者ヲ以テ創始ス此ニ至ルマテ國憲ノ
 改良ハ例ノ如ク常ニ偶然ニ出タル者ナリ蓋斯ク偶然トハ
 云ヘ凡テ改良ハ獨自ラ改良スル者ニアラス必ラスヤ微細

ノ改良ト雖平常ニ改良家ノ方寸ヨリ出ルモノニシテ縱令
 遠ク慮リ深ク考ヘサルモ一時ノ利害ヲ較計シ其便益ヲ謀
 ルノ舉ニ出タルニ非サルハナシ然リト雖此ニ至リ初メ
 テ所謂議院大改革ナル者ヲ發シ大本一トタビ定リ以后ノ
 改革家ニ至テハ唯其細目ヲ改革スルノ外復タ手ノ下スヘ
 キ無キ一大事業ヲ成セリ而シテ成セシ者ハ他ニアラス
 是レ則チ忠勇愛國ナルサイモン侯ニシテ之ニ由テ下院即
 チ代議院ハ真正ノ民選代議院ト爲ルニ至レリ若シ此時ニ
 方テサイモン侯徵セハ州代議士ノ局ハ純粹ノ民選代議院
 ト爲ルトヲ得スシテ必スヤ多少豪族院ノ性ヲ帶ヒ而シ英

國中最モ富強ニシテ發達進步スヘキ人民ノ一社會ヲ政治
 外ニ遺スナルヘシ然ルニサイモン侯ハル^イエス一捷ノ後
 顯理第三世ノ私欲ヲ逞フシ收歛堪^ニヘカラサルニ至リ侯
 ハ貴族ヲ教唆ノ王ニ叛カシメル^ルエスニ於テ王ト戰ヒ王
 及ヒ太子義德瓦^王ヲ挾テ令テ天下ニ傳ヘ英國史上ニ其名
 著シキ議院^ルモノナリナリ此議院ニハ唯各州ヨ
 リ二名ノ代議士ヲ招集シタルノミナラス各都府各都市ヨ
 リモ各二名ノ代議士ヲ招集シタリ蓋侯ハ夙ニ此時代ノ政
 治社會ニ於テ此發達進步セントスル民種ノ必要ニシテ貴
 フヘキヲ熟知シタリ何ントナレハ曾テ侯カ立身ノ始メガ
 スコニ^州英國ノ一州ニ爲レリ當時ニ知タリシキ此目的ヲ

以テ政ヲ布キシニ因リ本州ノ貴族及ヒ波耳多府ノ高僧ハ素ヨリ侯ノ措置ニ不滿ヲ懷キタレハ侯カ英國ニ皈ルニ及テ侯ヲ彈劾セリ其時侯ハ曾テ人民ヨリ寄贈シタル所ノ一片ノ書牘ヲ提出シテ以テ答辨ニ代フ其書牘ニハ波耳多府ノ共有府印ヲ捺シ侯ヲ稱シテ絶代ノ名士ト讚シタレハ侯カ此主義ヲ執ル丁此ニ初メテ起リタルニアラサル丁ヲ知ルニ足レリ

侯カ英國ニ於ケルハ恰モ其ガスコニーニ於ケルト同一般ニシテ侯ハ徹頭徹尾政治上ノ改革ヲ以テ主義ト爲シ目下ノ損害ヲ回復シ國王ノ嬖臣ニ抵抗シ法皇及ヒ國王ノ壓制

ヲ抑止セン丁ヲ努メタル人ナリ然レモ初メ侯カ改革ノ第一着ハ全ク貴族ヲ根據トシテ事ヲ企テ侯カ同族ノ貴族ヲ驅テ國民ノ災害ヲ救ハン丁ヲ試ミタリ然ルニ侯ハ星霜ヲ經過スルニ隨ヒ真正ノ改革ハ決シテ此ノ如キ狹隘ナル基礎ニ據テ成シ得ヘキ者ニアラサルヲ察シ漸次其思想ヲ變シ先ツ始メニハ州代議士ヲ信用シ竟ニ都府都市ノ代議士ヲ信任スルニ至レリ(蓋侯カガスコニーニ於テ其功ヲ奏セシモ全ク此府市兩民ノ翼賛ニ因テナリ)是ヨリ后チ侯カ爭論中モ此三民ハ毎ニ侯ヲ荷擔シ初メ波耳多ノ人民カ動セス臆セス侯ヲ信シテ疑ハサリシ如ク倫動ノ人民モ亦侯ヲ

信シテ貳アラスルーエスノ一戰ニ於テモ倫動人民ハ侯ト
 共ニ戰ヒ共ニ艱苦ヲ嘗メ共ニ勝利ヲ得タリ侯ハ斯ク天下
 蒼生ノ爲メ空前絶後ノ大改革ヲ行ヒ既ニ侯ノ爲メ且國會
 ニ於テ其地位ヲ占ムルカ爲メニ努力シタル一社會ヲ國會
 ニ招集セリ實ニ下院ニ於テ州都府都市ノ代議士カ始メテ
 肩ヲ駢テ議場ニ列セシハ千二百六十五年サイモン侯ノ招
 集シタル議院ヲ以テ權輿トス於是乎後世英國諸組織中最
 隆盛ノ權力即チ下院ト爲ルヘキ一社會ノ基礎ヲ築ケリ

○外國人有功于英國

身ヲ以テ國ニ殉セシ豪俠無雙ノ士カ英國ノ爲メニ遺セシ

所ノ功績ハ既ニ上文ニ述ルカ如シ然ルニ今此人ノ元ト英
 人ニアラサルヲ聞ケハ太々奇ナルカ如クナレモ予輩英人
 ノ耳ニハ決シテ珍シトスルニ足ラス却テ世間ニ向テ古來
 吾英國ハ寇讎或ハ移住者ヲシテ予輩ノ如ク英國ノ爲メニ
 忠スル英人ノ子ト變性セシメタルヲ誇ランノミ後世ニ至
 テハ「フレミンク」フランダー「ヒューゲノ」佛國ニ於テ宗旨
スノ人民 改革ニ先ツテ羅
馬教ニ叛キ獨「パレンチー」人民ノ如キ壓制殘虐ノ犠牲ト爲
立シタル宗徒ルヲ免レ脱走シタル脱徒ヲ容レテ英人ニ化セシメ且是等ハ
 本國ニ在テモ最モ價直アル人物ナレハ今之ヲ舉用シ益英
 國ヲ強盛ナラシメタリ故ニ英國ハ他國人ト雖モ其本國ニ盡

ス所ノ心ヲ以テ英國ノ爲メニ盡シタル者ハ英國ニ生長シ

タル人民ト同一ノ榮譽ヲ與ヘリ即チカニ噠王カニ加奴特千零十四

テカニ噠馬ノ王位ニ登リ後英國ニ侵入シ千零十七年ニ至リ遂

ニ全國ヲ領シ噠英兩國ノ王位ヲ躡メリ彼ノ宦官諂諛ノ弊

ヲ懲スカ爲メ海潮ニ向テハ英國大賢主中ノ一二位シオ

合ヲ下シタル明主ナリ

スターイノ伊太地利國ノアンセルム氏有名ナル干得不力ノ高僧

ルヲ禁シタハ英國高僧中善知識ノ一二位セリ今予輩ハ此

サイモンデモントフオルト侯ヲ舉テ吾英國貴族中大賢ノ

一二加ヘサルベカラス嗚呼侯ハ外國人ナリ然リト雖正其

英國ニ來ルヤ應サニ其繼承スヘキ權利アル封爵ヲ相續ス

ルカ爲メナリサイモン氏ノ祖母ハレリスタル侯ノ女是ニ

於テ侯ハ別種ノ外人猶詳説スレハ則チ國民ヲ土芥視スル

暴主ノ朝ニ群集スル外國ノ佞辨者ヲ退擯スル主謀者ト爲

リ又國王異姓ノ兄弟ニシテ英國中第一流ニ位スル縉紳家

ヲ抑制シテ擅恣ナラシメサリシモ上皇族ニ謀ラス下貴族

ニ謀ラス獨國人ト之ヲ謀レリ侯ハ生テハ英國政黨ノ首領

ト仰カレ死テハ英國ノ犠牲者トシテ禮拜セラル蓋當時ニ在

テハ萬事萬物皆宗教ニ薰染セラレサル者ナク故ニ民權ノ

爲メ將タ自由ノ爲メニ身ヲ殉シタル愛國ノ義士モ宗旨ノ

爲メ身ヲ殺シタル犠牲者ト併稱セラレ英國中要衝ノ街衢

ニハ到ル處トシテ賢者ノ塑像アラサルナクポールハーバ

ト。ロウヒス。コブデン。諸氏ノ如キハ今日猶銅身或ハ石軀ヲ以テ英人中ニ生存シワルトフ。サイモン。トウマス。オフランカスター。諸氏ハ神聖ナル英國ノ守護神トシテ仰慕セラレ且其墓所ニ於テハ無數ノ奇怪ヲ現出スルニアリト云ヘリ又三國ノ詩人羅馬ハ競フテ此權利ノ爲メニ争ヒ權利ノ爲メニ斃レタルサイモン侯ヲ稱讚シ關外ニ在テハ干戈ヲ杖キ廟堂ニ在テハ侃々ノ讜議ヲ唱ヘ以テ英國ヲ保護シタル侯カ在天ノ靈ハ永ク英國ヲ護スルナラント信仰セリ

○サイモン侯及ヒエドワード義徳瓦太子

爰ニ非命ノ最後ヲ遂ケタルサイモン侯カ大事業ノ顛末ヲ

尋マルニ其命運頗ル奇異ニシテ侯カ一身ノ業ハ其終ヲ果サス中途ニシテ止ミタレモ其政略ハ終ニ侯ノ匹敵ニシテ侯ニ次テ恭敬スヘキ同姓ノ人ヲ須テ局ヲ結ヘリエドワード義徳瓦太子エドワード英國ノ地名初メルーエスノ一戰ニ於テサイモン侯ハ顯理王及ヒ太子義徳瓦ヲ擒ニシタレモ太子竟ニ囚ヲ脱シテ再ヒ兵ヲ擧ケ侯ト戰テ一戰ニテ侯ハ戰死シ義徳瓦ハ捷ヲ奏シタリ然レモ後ニ侯カ遺緒ヲ繼テ其丕績ヲ完結セシハ即チ侯ヲ戮シタル此義徳瓦ナリ眞ニ奇ト云ヘシ實ニ一時ハ侯ノ事業モ侯ト共ニ終始シタルカ如ク此後數年間議院ノ招集モ嘗テ侯ノ畫策ニシテ顯理王ノ勅ヲ以テ定メタル大國會即チ議院ノ模範ニ副セサルト多シ然レモ其模範

ハ猶民心ニ存シテ消散セサレハ義德瓦ノ慧敏ナル遂ニ其叔父(サイモン侯)ノ遺範ノ民心ヨリ奪フヘカラサルヲ覺リ
 翩然已ヲ舍テ人ニ隨ヒ以テ當時ヨリ今日ニ至ルマテ議院
 招集ハ全ク侯ノ遺範ニ從テ敢テ差フ_トアル_トナシ
 サイモン侯ニ次テ恭敬スヘキハ義德瓦王及ヒ王ニ抵抗セ
 シ賢者等ナリ然リ而_{シテ}實ニ初メサイモン侯ノ經始シタル
 事業ヲ大成セシハノルホルクノロガー_{ビゴット}及ヒハーホ
 ルト_ノハムフレイ_{ホーン}ノ兩氏トス蓋此ニ至リテ英國議
 院ノ組織ハ完全ノ極點ニ達シ議院カ内國事務ニ參與スル
 ノ權力ハ確乎トシテ復タ動カスヘカラサルニ至リ租稅ハ

勿論其他ノ徵收物モ凡テ上下兩議院ノ然諾シタルモノニ
 アラサレハ英王復タ人民ノ囊中ニ就テ一物モ請求スル_ト
 能ハサルニ至レリ

○憲法完全ニ至ル

上文ノ如ク英國憲法ハ義德瓦第一世ノ時代ニ至テ初メテ
 完全シ爾後今日ニ至ルマテ重要ノ點ニ於テハ嘗テ變更セ
 シ_トナシ實ニ國王及ヒ貴族院代議院ナル三權ノ萌芽ハ既
 ニ八百年前英國人民ノ猶未タ英國ニ渡來セサリシ以前其
 本國ニ於テ發生シ之ヲ英國ニ移植シタル者ナリト雖_モ國
 王貴族院代議院ノ三權鼎立シ其外貌ト全權トニ於テ今日

ト大ナル逕庭アルト無キニ至リタルハ義德瓦王ヨリ以來
 ノトトス此ノ如ク英國自由ノ大主義ハ遂ニ確定シタリト
 雖モ義德瓦第一世ノ時代ニ於ケル政体ノ狀況ト今日ノ狀
 況トナ比照セハ其差蓋少小ニアラス然リ而シテ其差タル
 ヤ多クハ其形体ニ關スル者ニ非スシテ專ラ政憲實地施行
 ノ點ニアリトス且又其變更ノ數ニ至テハ一ニシテ足ラス
 ト雖モ然レモ公然ノ發令ニ由テ變シタル者極メテ鮮ク多
 クハ唯默々ノ間ニ變更シテ漸々其變則ノ行ハル、ニ由テ
 竟ニ一種ノ盟約憲法ヲ發生シ成文律ト併セ行ハル、ニ至
 レリ

他ノ變革ハ單ニ其細條目ヲ改良シタルニ過キス而シテ又其
 他ノ變革ハ未タ嘗テ失墜セサル人民ノ權利ヲ今一層明瞭
 ニ爲シ實地ニ適用スルカ爲メノ發令ナリ然リト雖モ之ヲ
 要スルニ成文憲法ト爲ラス所謂盟約憲法ノ緊要ナル種類
 ノ外今日英國憲法ノ大基礎ハ曾テ義德瓦王ノ世ニ確定セ
 シ者ト相異ナルトナシ然リ而シテ義德瓦王ノ時代ヨリ以降
 英國憲法史ハ啻ニ古昔憲法ノ討究ノミニアラステ蓋シ
 古ニ遡リ其憲法ヲ討究スルハ大ニ興味アリ且鑑戒ト爲ル
 へキ者ナリ(當時猶存在スル憲法ノ討論ナリ即チ公然ニ廢
 止セラレス當時猶効力アル法律當否ノ討論ナリ猶之ヲ再

陳スレハ義德瓦第一世ノ世ニ至ルマテハ英國憲法史ハ專
ラ考古家ノ管掌ニ属シ其以降ニ至テハ法律家ノ職分ニ属
スル者ナリ

○貴族

上文ノ如ク英國憲法ハ十三世紀ノ季ニ至リ其發達ノ極點
ニ達シタリト謂ヘシ而シテ其發達ノ極點ニ達シタル所以ハ
全クサイモン^デモント^フオルト侯ト義德瓦第一世ノ功業
ナリ然リ而シテ英國憲法ノ竟ニ此ノ如ク確定シタル時ニ於
テ其組織ノ歐洲大陸諸邦ニ於ケル同シ塞爾^{セル}爾^チ達人種中ニ行
ハル、憲法ノ組織ト異ナル所ノ點ハ一ニシテ足ラス大凡

中古歐洲諸邦ニ於テ通例國會又ハ州會ノ組織ハ「エステ」
ツ^身分^ノ義^ニシ^テ即^チ貴^族僧^侶平^民ノ集會ナリ詳言スレハ
則チ國中ニ於テ政事ニ參與スルノ權利ヲ有スル種族ノ代
議士ヨリ成レル集會ナリ而シテ是等ノ種族ハ概テ諸國ニ於
テハ三種ニシテ即チ貴族僧侶平民ナリ英國ニ於テモ亦古
ヨリ三種^{スリー}種^{エス}族^テノ名アリテ即チ貴族僧侶平民ヲ稱スト雖モ他
國ノ所謂三種族トハ其實大ニ異リトス英國ニ於テハ太古
「オ」^ー「ラ」^ス「英」^國「太」^古ノ時代ヲ除クノ外他國ノ所謂貴族ノ
如キ貴族アラサルナリ蓋シ他國ニテ貴族ト稱スルモノハ
自ラ一門族ノ別乾坤ヲ爲シ而シテ其以下ニ生レタル者ニテ

モ間々其地位ニ歴進スルヲ無キニアラス然レモ苟クモ一度此位地ニ在ル者ハ復タ之ヨリ貶黜セラレ、ノ例絶テアラサルナリ且又其特權ハ悉皆其嫡庶子ニ傳ヘ嫡庶子ハ又之ヲ永世ニ傳フルヲ得又國ニ因リテハ父祖ノ爵位ヲ依然子孫ノ繼襲スルヲ得ルヲアリ縱令ハ侯ノ子孫ハ侯若クハ女侯ト爲ルカ如シ

佛國及ヒ其他「エスターツ」ノ制存在セシ諸國ニ於テ國會ニ臨席スル貴族ハ全ク其一門族ノ代議士トシテ臨席スル者ナリ故ニ今此ノ如キ貴族院ヲ以テ吾英國ノ上院ニ比スレハ其差管ニ霄壤ノミナラサルハ復タ喋々ノ辨ヲ要セスシ

テ明カナルヘシ猶之ヲ切言スレハ英國ニ於テ眞ノ貴族ト稱スル者アラサレハナリ看ヨ吾上院ノ議席ヲ占ル者ハ選舉ニ依ルニ非スシテ世襲ニ依ル者ナリ然レモ其世襲議員モ政治上ノ特權ハ唯當主一身ニ止マリ決シテ子孫ニ及ホサス殊ニ其嫡子ノ如キハ後來此特權ヲ有スヘキ人ナリト雖モ然レモ其父ノ存在スル間ハ猶一平民ト異ナルヲナク且縱令此嫡子カ貴重ノ爵位ヲ受ルヲアリモ是單ニ其恭敬ヲ表スルノ意ニシテ決シテ之ニ依テ他ノ平民ト異ナル政治上ノ特權ヲ附帶スル者ニアラス唯是ノミナラス國王ノ庶子ニ至テモ貴族ノ嫡庶子ト等シク政治上ノ特權ヲ有ス

ルヲ得ス皇后皇太子皇長女皇太子妃ハ各法律ニ於テ特權ヲ有スト雖モ他ノ皇庶子ニ至テハ國王カ一般臣民ヲ拔擢スル如ク之ヲ貴族ノ地位ニ拔擢スルニアラサレハ其權利ハ平民ト異ナルヲナシ

英國憲法中其至要至重ナル者ハ共ニ上下ノ種族ヲ聯結シ管テ人民ヲシテ貴族專權ノ下ニ沈吟セシメザリシヨリ大ナルハナシ蓋英國憲法ト他國ノ憲法トニ於テ斯ク著シキ懸隔ヲ生セシハ唯自然ニ馴致シタル者ニシテ殊更ニ人意ヲ以テ作爲シ又ハ會議ニ於テ決シタル布令ニ依テ然ルニアラス但シ英國ニ於テ斯ク貴族專權ノ弊ヲ禦キシ者ハ國

會カ其變遷中ニ於テモ猶常ニ相會シテ間斷アルヲナク自由人民カ自身ニ臨場スル權利ノ公ケニ廢止セラレタルヲナク又國王カ其好シトスル所ノ者ヲ特別ニ招集スル權利ヲ失墮セサル等ノ事與テカアリシハ最モ著明ナル者ナリ英國ニ於テモ古ヨリ貴族ノ氣風即チ門閥ノ驕傲ハ常ニ隆盛ナリシ者ナリ然レモコハ唯氣風ニ止マリテ眞ニ門閥ヲ以テ驕ルヘキ根蒂アルヲナシ何ントナレハ國王ハ其好シトスル所ノ者ヲ隨時ニ拔擢スルヲ得而シテ其拔擢セラレタル者モ貴族ノ特權唯己ノ一身ニ止リ一家中他ノ者ニ及ハヌ又上下ノ區別ヲク相互ニ婚嫁スルノ自由ヲ得又自由

人民ハ凡テ大小ノ官ニ就ク_一ヲ得タレハナリ且又英國ハ日耳曼ト異ニシテ僧侶ト爲ルニハ貴族ニ限ルノ制限アラサレハ宗門上ヨリ觀察スルモ決シテ驕傲ノ根帶アル_一ナシ

○僧侶

英國僧侶ノ位地モ亦他國ノ僧侶ト大ニ異リ實ニ義德瓦第一世ノ時ヨリ以來政治上ニ於テ僧侶ノ位地ハ奇異ニシテ且兩立シ難キ_一多シ他國ニ於テハ僧侶ハ貴族ノ代議士ノ如ク代議僧ヲ出シ國會中ニ一種ノ議席ヲ占メタレモ英國ニ於テハ古ヨリ高僧自ラ臨會シ猶今日ノ高僧カ占有スル

如ク上院ニ於テ議席ヲ占有セリ此外「コンウケトシヨン」王

勅許ニ因リ宗法ヲ發シ又違法ノ者ヲ糺ス爲メ僧侶ノ集會ナ

リ其開會ノ期ハ議院ト同時ニシテ國王ノ招集スル所ナリ

ト稱スル一種奇異ナル僧會アリテ其性質ハ「シノッド」_{純粹ナル}宗教

上ノ事ヲ議ト議院ニ於ケル僧侶トノ中間ニ位スル者ナリ

僧侶ハ今マ猶議院ノ開會毎ニ必ラス招集セラル然レモ其

元ト查理第二世ノ時ニ至ルマテハ僧侶ハ議院ニ於テ一種

特別ノ職ヲ掌リシカ此ヨリ後特別ノ布令ヲ用井スシテ自

然ニ之ヲ剝奪セラレタリ

英國ニ於テ租稅ノ事ハ之ヲ納ル者ニアラサレハ得テ議ス

ヘカラストハ義德瓦王ノ時制定シタル憲法大主義ノ一ナ

リ然レ_レ貴族及ヒ平民ハ其前既ニ久シク特別ニ之ヲ議シ
 僧侶モ亦其「コンウ_オケーション」ニ於テ別ニ僧侶ノ租稅ヲ議
 シタリ故ニ僧侶カ別ニ「コンウ_オケーション」ニ於テ之ヲ議定
 スルノ權ヲ辭スルニアラサレハ縱令寺院屬地ノ存スルアリ
 其_レ之カ爲メ下院議員ノ選舉ニ發言ノ權ヲ有スルヲ得
 サリシナリ

○平民

英國下院ノ議員ト他國ノ下院議員ト其名ハ同一ナリト雖
 其_レ其實ハ大ニ異ナル所アリ英國ニ於テ州都府都市ノ代議
 士ヲ同シク一院ニ集ムルノ慣習ハ其原因ノ人爲又ハ偶然

ニ出ルヲ問ハス國家ノ爲メニ謀テ頗ル有益ナルモノニシ
 テ英國國憲ノ進歩上ニ於テ其功用貴族ノ子弟ヲシテ下院
 ノ議員タラシムル慣習ニ減セサルナリ英國ニ於テ州代議
 士トシテ選舉セラル、モノハ歐洲諸邦ニ於テハ大抵上院
 議員トシテ選舉セラルヘキモノナリ佛國ニ於テ「ノトブル
 メン」貴族ト「ヂエントルメン」紳士ノ義ニシテ英國ニテ中等ノ
 社會以上ノ者ヲ稱スルノ語ニ
 二字ハ同シ義理ヲ有シ特權ヲ有スル種族即チ上院議員ト
 爲ルヘキ者ヲ稱スルノ語ニシテ下院議員ハ唯代議士選舉
 ノ權アル都府ノ市人ヨリ成レル者ナリ然ルニ英國ニ於テ
 中等社會ト稱スル者ハ唯都府ノ市人ニ限ラス凡テ國中ニ

散在スル地主有貴族ニアラサスシテ土地ヲ及ヒ富農ヲ併稱スル者ナリ

凡テ此中等社會ハ永ク英國ノ賴テ以テ剛強ナル所ノ者ニシテ其代議士ヲ都府都市ノ代議士ト一局ニ聯合シタルヨリ頗ル好結果ヲ得タリ蓋斯ク州都ノ代議士聯合シタルヨリ雙方互ニ力ヲ得特ニ市人ハ此地主社會ト聯合スルニアラサレハ決シテ得ヘカラサルノ尊重ヲ得タリ之ヲ概論スレハ僧侶並ニ當主貴族ヲ除クノ外都テ自由人民(即チ貴族ノ嫡子ヨリ小地主ニ至ル迄)ノ聯合ハ下院ヲシテ英國全國民ヲ舉テ之ヲ代理スル代議院ト爲サシメタル者ナリ

〇二局議院

英國立法議會ノ上下兩院ヨリ成レルモ亦例ノ偶然ニ出タル者ノ一ナリ當今二局議院利害ノ論多シト雖モ要スルニ甲ハ唯一局ヲ以テ足レリト爲シ乙ハ猶二局ヲ要スト云フニ在リ誰カ又三局若クハ四局ヲ要スト云フ者アラシヤ然レモ歐洲大陸諸邦ニ於テハ議會ノ三局ヨリ成レル者尠ナカラス瑞典ニ於テ農家即チ小地主ハ必ラス貴族僧侶及ヒ市人ト對立シテ別ニ議員ヲ選舉セサルヘカラサルノ要アリテ近時ニ至ルマテ猶四局アリ英國ニ於テ議院ノ數ヲ二局ト確定セシハ必ラス此ノ如クセハ果シテ此利益アリト

ノ感覺ニヨリテ定メタルモノニアラス唯英國ノ僧侶ハ他國ノ僧侶ノ如ク議院ニ一局ヲ占メ常議員トシテ臨會スルト能ハサルヨリ生シタル者ナリ蓋英國ノ僧侶ハ此ノ如キ重任ヲ擔フトテ惶怖シタル歟若シクハ世俗ノ議政ハ僧侶ノ職掌ト併立スヘカラサル者ト思考シ諱避シタルナルヘシ故ニ英國ノ僧侶ハ佛國ノ僧侶ノ如ク別ニ議政ノ一社會ヲ設クルトテ爲サス議院ニ於テハ唯「コンウケーション」ノ支局ノ如キ姿勢ヲ以テ其迹ヲ留メ竟ニ上下二局ノ議院ト爲レリ

○三種族
スリーエステート

此ノ如クナルヲ以テ英國議院ニ於テハ實ニ唯貴族平民ノ二種族ノミ故ニ三種族ナル語ハ佛國ニ於テコソ眞ニ其意味アレ英國ニ於テハ全ク閑語ナルノミ何トナレハ數百年來英國ニ於テ僧侶ノ種族ヲ以テ別ニ一社會トナストナク高僧ハ貴族ニ屬シ他ハ平民ニ列スレハナリ故ニ長期國會ロング・パークメントテ有理第一世ノ時ニ於テノ時代ヨリ三種族ノ字義ニ關シ一般誤解ヲ生シ(此誤解ヲ來セシト蓋又故無キニアラス)人常ニ此語ヲ以テ英國立法權ヲ三分スル三基礎即チ國王貴族平民ヲ指スカ如ク思惟セリ然レモ「エステート」ナル語ハ貴族僧侶平民ノ如キ階級即チ種族即チ社會ヲ稱スルモノニシ

テ國ニ二人ノ王ナク王ノ社會アルヲナケレハ決シテ王ヲ指シテ「エステート」ト稱スヘカラス故ニ國王及ヒ國中ノ三種族ト稱スルコソ眞ニ適當ト云ヘケレ然リト雖モ業已ニ論述シタル如ク英國ニ於テハ其實唯二種族ノミナレハ三種族ナル語ハ全ク閑語タルニ過キサルノミ

○議院ノ權力

前文既ニ論述シタル如ク英國ニ於テハ他國ノ如ク一般人民ヨリ懸隔シテ別ニ一門ヲ成シタル貴族社會アルヲナク唯世襲ニシテ政治上ノ貴族ヲ以テ組織シタル上院アルノミ然レ此貴族モ其特權ハ唯其一身ニ止リ其子ニ至テハ嫡

庶ヲ論セス政治上ニ於テ他ノ平民ニ異ナル特權ヲ有スルヲ得ス

英國ノ高僧及ヒ他ノ僧官モ上院ニ於テ議席ヲハ占ムルト雖モ立法ニ關シ特別ニ發言權ヲ有シ特別ノ社會ヲ爲ス僧侶種族ノアルヲナシ

今日其名義ニ於テハ下ノ字ヲ有スレモ實權ニ至テハ逐次最上ノ勢ヲ占メントスル下院ハ唯議員選舉ノ權アル都府ノ人民ノミナラス實ニ上院ノ議席ヲ占ル當主ノ貴族ヲ除クノ外凡テ全國人民ノ代理ヲナス者ナリ然リ而シテ此ノ如キ集會カ逐次ニ一國凡百ノ實權ヲ掌握スルニ至ルハ是レ

亦自然ノ理ニシテ深ク怪ムニ足ラス然レモ其之ヲ掌握スルニ至リシハ幾衰葛ヲ更メ然ル後然ルモノニシテ決シテ一朝一夕ノ事ニアラセラルナリ

英國議院歴史中ニ於テ最モ著明ナル者ハ上下兩院カ互ニ相抵觸スルヲナク協同一致シテ其務ニ服シタルノ一事ニ若クハナシ是レ予ハ敢テ輓近ノ事ヲ言フニアラス昔日兩院カ彼此對峙ノ權ヲ有セシ時ヲ言フナリ夫レ兩院カ併立シテ共存セシハ六百年ノ間ニシテ其間兩院ノ間ニ微論ヲ發生セシヲハ太々希ニシテ縱令或ハ之アルモ其論點ハ通例議院ノ組織又ハ特權ノ事ニ止リタレハ之カ爲メ感動ス

ル者ハ唯兩院ノ議員ニシテ他ノ全國人民ニ影響スル大事件ニ關スルモノアルヲナシ蓋一時下院ハ上院ノ嚮導ニ從ヒタルモ其後漸次ニ勢ヲ顛倒シ上院ハ却テ下院ノ嚮導ニ從フニ至レリ然レモ兩院ノ間ニ於テ公然タル破裂ヲ生セシハ蓋寥々晨星ヲ觀ルヨリモ亦希ナリトス
 サイモン侯ノ時ヨリ以來議院ノ權力特ニ下院ノ權力ハ日ヲ逐フテ隆昌ニ趣キ十四世紀ノ議院ハ蚤ク既ニ今日ノ議院ト同シ權カヲ行ヒシノミナラス猶今日ノ議院カ諱避スル所ノ事ヲモ斷行セリ猶之ヲ反覆詳言スレハ當時ノ議院ハ盟約憲法開進ノ今日ニ於テ議院カ唯間接ニ爲シ得ルノ

事ヲモ之ヲ直接ニ爲ス歟然ラサレハ止ヲ得ス全ク之ヲ放棄シタル者アリ縱令ハ昔日ノ議院ハ國王ノ任シタル宰相ヲ黜免センコトヲ請求シ又ハ王室ノ私事ニ干涉シ或ハ攝政ヲ舉テ之ニ王權ヲ委テ若シ萬一止ヲ得サルノ際ニ方テハ最後ノ大權力ヲ振ヒ一天ノ君ヲ萬乘ノ位ヨリ遷スニ至レリ蓋當時政府ノ更迭即チ政略ノ變更即チ不良ノ宰相ヲ除キ賢相ヲ代置スルニハ國王ト議院ノ間ニ確執ナキコト能ハサルノミナラス屢宰相ヲ拘留シ或ハ之ヲ禁錮シ甚シキニ至テハ竟ニ死刑ニ処シ尙其最モ酷ダシキニ及テハ國王ト雖モ亦タ蒙塵ノ厄ニ値遇セシムルニアラサレハ之ヲ行フ

コト能ハサルニ至レリ然ルニ今日ニ至テハ決シテ然ラス今日政府ノ更迭ハ唯下院ニ於テ其政略ヲ攻撃スルカ又ハ攻撃スルコト無クトモ唯單ニ内閣カ其可否決ニ由テ進退ヲ決セントスルノ議案ヲ擯斥スルコトニ依テ其目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ

○諸州特權ノ減縮

十五世紀ノ事ヲ以テ十三四世紀ノ事ト比較セハ却テ其退歩シタル所アルヲ看ルヘシ蓋當日ノ議院ハ明カニ復タ前日ノ如キ振拔特立ノ者ニアラス薔薇軍千四百年代ニ於テ約克家ト蘭加ス薔薇ト王位ノ爭ヨリ生シタル戰爭ニ斯クハ名ケリ薔薇ヲ以テ紀號ト爲シタルカ故ニ斯クハ名ケリノ間ニ

於テ議院ハ彼此勝利ヲ得タル者ニ王ノ名義ヲ然諾シ王ト奉戴シ以テ其敵軍ヲ賊ト呼ント覺悟シタルモノ、如シ古今議院ノ議決セシ処置ニ就テ無稽ノ最ナルモノハ顯理第六世ノ時ニ於ケル議決ニ若クモノナシ此議決ハ諸州選舉人ノ資格ヲ定メテ年々四十志ノ歲入アル土地所有主ト爲シ以テ其制限ヲ狹隘ニ爲シタリ然レモ此點ハ竟ニ歲月ト貨幣價格ノ變遷ニ因テ其不正ヲ釐ス^{シカリンク}ト得タリ蓋今日四十志以下ノ價直アル土地ヲ所有スル地主猶アルヘシト雖モ然レモ亦タ多クアラサルヘシ殊ニ緊要ナル社會ニモアラズ然リト雖モ今此ニ十五世紀ニ於ケル此制限ノ眞味ヲ

十分ニ解得セント欲セハ古今貨幣價格ノ權衡ニ照シ四十志ヲ讀テ四十磅ト爲サ、ルヘカラス然ラハ則今日歲入四十磅以下ノ土地所有主ヲ選舉人ノ名簿ヨリ抹殺セハ諸州選舉人ノ衆ヲ減スル^{ボシト}ト實ニ少小ニアラサルヘシ然ルニ之ニ次キタル革命時代ニ至テハ稍其形勢ヲ變化シ國王ハ屢人民ニ向テ直接ニ訴フル所アルヲ發見ス即チ義德瓦第四世ト力查第三世ハ倫動ノ市人ヲ集會シ其翼賛ニ依テ王位ニ登ル^{リチャド}ト得タリ縱令之ナシトスルモ猶王位ノ冀望ヲハ承認セラレタルヤ疑ナカルヘシ蓋之ニ由テハ人ヲシテ昔ステップエンマチルダノ戰爭ノ故事ヲ追懷セシメ

感歎淺カラサラシム

蓋此ノ如キ遭厄ノ際ニ於テモ議院ノ權力ハ猶駸々乎トシテ進動シタリ試ミニ看ヨ當時王位ニ登ラントナ争フ者ハ孰レモ先ツ其權利ヲ議院ニ於テ承認セラレントナ熱望セシハ是レ乃チ議院カ當時將サニ緊要ノ地位ヲ得ントスルノ徵候ナリ又其一方ヨリ之ヲ見ルニ當時州代議士ニ舉ラルヘキ社會ノ者ハ更ナリ猶上院議員ノ子弟ト雖モ其願望ノアル所ヲ問ヘハ皆都市ノ代議士トナリテ下院ノ議席ヲ占メントスルニ在リタルナリ

○顯理第八世ノ治世千四百九十一年降誕
千五百四十七年崩

斯ノ如クシテ竟ニ十六世紀ニ馴致セリ十六世紀ハ實ニ歐洲諸國ニ於テ議院成憲ノ試驗時代ニシテ初メ英國議院ノ如ク自由ナリシ議會モ多クハ此時代ニ於テ全ク掃蕩セラレ或ハ有名無實告朔ノ餼羊ト爲ルニ至レリ力查第五世及ヒ非立第二世力查第五世及ヒ亞五百五十六年父ニ續テノ二帝カ加斯德辣西班牙國及ヒ拉岡上ノ自由政度ヲ轉覆セシモ亦此時代ニシテ是ヨリ又幾何時ヲモ經スシテ佛國ニ於テモ革命前最後ノ大民會ヲ開キ次テ同國革命ニ推移シ全ク本會ノ終局トナレリ英國議院ノ成憲ハ全ク掃蕩セラレタルトナク又告朔ノ餼

羊トモナリシ丁ナシ然レモ唯一時自餘ノ成憲ト均シク暴虐壓制ノ機械ト爲リタル丁アリ顯理第八世ノ時ニ方リ議院モ亦判事陪審及宗教集會等ノ如ク此專制王ノ願使ニ隨ヒ全ク其嗜好ニ應シテ議決シタリ蓋此時ニ方テ議院カ奈何ニシテ斯ク前後未タ曾テ比類アラサル無氣無力ノ極點ニ陷リシヤヲ尋マルニ其理太々明瞭ナリ此時平民ハ猶未タ貴族ノ救援ヲ要セス振拔獨立シテ事ヲ爲スノ氣力ナク上院モ亦昔日ノ如キ獨立ノ議會ニアラス舊貴族ハタウント千四百六十一年約克家ト蘭加斯の家ノ兵此處ニトシ戰ヒ蘭兵敗走シ死スル者三萬八千余人ト云フ及ハト子ト千四百七十一年又約蘭ノ兵此處ニ戰ヒ再ヒノ戰ニ蘭兵敗走シ其將ウワローウエッキ侯敗死セリ

於テ殆ント其族ヲ殄シ新貴族ハ當時ノ國王ニ依テ拔擢セラレタルモノニシテ其官爵モ亦國王ノ恩賜ナレハ皆膝ヲ屈シ甘シテ王ノ奴隸ト爲レリ然ルニ是後又一百年ノ星霜ヲ經過スルニ及テ新貴族ハ勃然トシテ興起シ嘗テ舊貴族ノ含蓄セシ氣象ヲ發露シ平民モ亦其權力ノ隆盛ヲ極ムルニ至レリ嗟乎十六世紀ノ議院カ前後十四世紀及十七世紀嘗テ其徵候タモ見ルヘカラサル卑屈ノ極點ニ陷リ唯專制王ノ意ニ是レ順フノ後ソカラシマラシムルニ至リタルヲ實ニ此ノ如シ故ニ斯ク一議ニ及ハス顯理王カ睚視スル所ノ人ニ向テ容易ニ公權剝奪ノ議案ヲ議決セシ議院ヲ以テ

彼ノ力查第二世及查理第一世ヲ廢シタル議院ニ比スレハ
其差豈啻ニ霄壤ノミナランヤ

然ルニ今此ノ如キ狀況ニ陥リタル英國議院カ奈何ナル故
ヲ以テ他國ノ議院ノ如ク全ク掃蕩セラレサリシヤヲ考ル
ニ其理蓋シ一ニシテ足ラスト雖モ之ヲ要スルニ英王モ當
時ノ議院ノ如ク容易ニ王ノ意思ニ阿順スル議院ヲ破毀ス
ルノ得策ニアラサルヲ熟知セシニ由ル者ナリ而シテ又縱
令掃蕩セラレサルモ奈何ニシテ此ノ如キ災厄ノ際ニ方リ
猶議院カ告朔ノ餼羊ト爲ラサリシヤノ原因モ亦是多シト
雖モ然レモ其一因ハ英國ノ地勢ナルヤ疑ナカルヘシ夫レ

英國ノ地勢タルヤ海中ニ孤立シ四境敵國ナク自然ノ天險
ナレハ之カ爲メ英國史上ニ一種特別ノ形狀ヲ現出スルハ
唯獨國憲ノミニアラス昔議院ノ讎敵トセシ所ノモノハ常
備兵ニ若クハナシ然レモ英國王ハ孤島ノ中ニ籠居スルヲ
以テ歐洲大陸ノ諸王カ四境ノ警報休ムヲナキ時ノ如ク常
備兵ノ必要アリタルヲナシ

然リト雖モ予ノ所見ヲ以テスレハ英國王ノ中間接ニ自由
ヲ保庇シタルモノ前ニハ維廉第一世トシ後ニハ顯理第八
世ト云ハサルヲ得ス然リト雖モ予ハ決シテ世間ニ於テ顯
理王ヲ以テ有徳ノ仁君ト讚賞スル奇怪ノ學派ニ黨スルモ

ノニアラス又サイモン侯及義德瓦第一世ニ於ケルカ如ク
 顯理王ヲ推戴シテ敢テ萬謝ノ情ヲ懷ク^{エドワード}能ハス然レモ予
 ハ猶王ヲ以テ英國自由ノ爲メニハ維廉第一世ニ比スルモ
 敢テ不可ナル無キヲ信ス蓋シ維廉第一世ハ萬事ニ於テ顯
 理王ニ優レル^ト勿論ナリト雖モ猶顯理王ノ地位ハ維廉王
 ノ地位ノ如シト云ハサルヘカラス且ツ兩王共間接ニ英國
 ノ自由ヲ保庇シ又兩王共之ヲ保庇スルニハ等シク其人ト
 爲リニ因テ然ルモノナリ

兩王ノ英國ニ於ケル其地位全ク異ニシテ其舉措一ニ歸ス
 ルモノアリ何トナレハ維廉王ハ本ト外國人ナリ而ソ英國
^{ビセルサム}

ノ爲メニ間接ノ善ヲ爲セシモ全ク其外國人タリシヲ以テ
 ノ故ナリ顯理王ハ然ラス王ハ一身ノ罪業少ナカラスト雖
 モ生來ノ英國人ナルヲ以テ王ノ在世中君民ノ間互ニ相憐
 ムノ情好ヲ失ハス之ヲ要スルニ其或ハ王后ヲ斬シ公侯ヲ
 戮スル等ノ惡虐暴舉ヲナスモ敢テ人民ノ怨嗟ヲ發セシ^ト
 ヲ聞カス是其異ナル所以ナリ其舉措ハ則テ兩王トモ大惡
 業中ニ於テ猶斷然法律ヲ蔑視スル能ハサル是ナリ維廉王
 ノ時ニ方リ王ノ斷然法律ヲ蔑視スル^ト能ハサリシハ注意
 シテ當時ノ史ヲ讀ム者ノ容易ニ知リ得ル所ナリ又顯理王
 ノ時ニ於テハ此事英國史上ニ特書シテ顯著ナリ是其一ニ

歸スル所以ナリ

顯理王ノ如キ外國ノ壓制王ハ皆自由政度ヲ轉覆シタレモ
顯理王ハ然ラス王ハ凡テ自由政度ニ對シ外貌ノ尊重ヲ極
メ登極中萬事悉ク古例或ハ成文律ヲ以テ于盾トナシ此于
盾ニ據ラサレハ敢テ事ヲ行フヲ爲サス蓋此ノ如ク法律
ヲ轉用シ正誼ノ外套ヲ以テ邪險ヲ韜覆スルハ其實公然々
ル暴虐ヨリモ猶一層ノ惡ムヘキモノトス何トナレハ公然
ノ暴虐ヲナセハ人民モ亦公然憤起離反シ其害唯一時ニ止
レモ外正内險ノ毒ハ其世道ヲ頹敗スルヲ唯一時ニ止マラ
サレハナリ然レモ顯理王ノ如キ壓制ハ猶善ヲ主トシ不善

ヲ從トシ不善ヲシテ善ニ臣從セシムルモノナルカ故ニ苟
モ自由ノ外形猶存スルアレハ再ヒ天運循環シテ後世子孫
其外形ニ就テ昔日ノ精神ト昔日ノ生活ヲ回復スルヲ得ル
ヲ蓋シ容易ナルヘシ實ニ彼ノ顯理王ト雖モ議院ノ承諾ヲ
得サレハ事ヲ行フ能ハサルヲ以テ看レハ乃チ當時議院カ
猶其重要ナル地位ヲ維持セシ所以ノ確証ナリ然リ而シ縱
令議院カ一時之ヲ承諾シ英國古傳ノ國憲ヲ虧損シタルモ
其虧損ハ却テ他日之カ新氣力ヲ振起シ一層完全ノモノト
爲ルヘキ一段落ト云フヘキナリ

○風儀頹敗シタル都市ニ議權ヲ與ヘタルト

上文ノ外又此時代ニ於テ議院ノ重要ナリシ所以ヲ証スルニ足ルヘキ著明ナル二事件アリ蓋其事タルヤ下院ヲ頽敗セントスルノ所爲ニ出テ却テ下院ノ權力ト其重要トヲ公認スルニ至リタルモノナリ所謂其二ヶ條ノ一ハ乃チ政府ノ壯ンニ議員選舉ニ干涉シタルトニシテ其一ハ都市ノ風儀既ニ頽敗シタルニ由リ之ヲ利用スル爲メ其都市ニ議權ヲ與ヘタルトナリ蓋シ斯ク下院ヲ檢束シ之ヲ制御スルノ必要ニシテ止ムヘカラストスルニ至リタルヲ視レハ當時議院カ重要ノ地位ヲ占メタルノ証憑之ヨリ確ナルハナシ

當時英王ハ猶其必要ト思考スル所ノ都市ヨリ議員ヲ招集

スルノ權ヲ保有シ而シテ「チユードル」家英國王統ノ名ニシテ顯理第八世モ即チ「ユウドル」血ノ朝ニ立チシ間ハ屢々此權ヲ濫用シ必ラス政府ノ意ニ阿順スル議員ヲ選舉スヘシト思考スル都市ニハ法令ヲ下シテ議員ヲ招集シタリ故ニ一時ハ剛空力斯州及其他諸州ニ於テ鄙陋ナル數多ノ議員選舉權アル都市ヲ發生シタレト然レト是等ノ小都市ハ其後議院改革案ノ出ルニ依テ竟ニ其權ヲ剝奪セラレタリ

然リト雖ト此ノ如ク風俗頽敗シ其頽敗シタルカ爲メ今爰ニ議權ヲ付與セラレタル都市ト又之ト別種ニシテ後竟ニ之ト共ニ斃レタル他ノ都市トハ注意シテ區別セサルヘカ

ラス蓋サイモン侯及義德瓦王ノ法令ヲ下シ議權ヲ付與シ
議員ヲ招集シタル數多ノ都市モ物換リ星移リ或ハ自然ニ
衰頽シ或ハ又新都市ノ勃興シタルカ故ニ嘗テ占有セシ重
要ノ地位ヲ失ヒ之カ爲メニ衰微ヲ致シ其權ヲ剝奪セラレ
タル者亦多シ但風俗頽敗ト云ヒ衰微ト云ヒ是等兩種ノ
都市ノ議權ヲ剝奪シタルハ雙方太々其當ヲ得タル者ナレ
ト其兩種ニ於テ經歷ノ相異ナル所ハ讀者心ニ銘記セスレ
ハアルヘカラサルナリ

○自由ノ再興

英國ニ於テ古昔ノ自由精神ノ再生セシハ實ニ以利沙伯女

皇ノ時代ニアリトス然リ而シテ始メテ議院カ議院タルノ功
驗ヲ發表シ而シテ之ヲ廢弛セス以テ今日ニ至リタル確乎不
拔ノ基礎ヲ開キタルモ亦タ實ニ此時ニ在リトス蓋此時ニ
方リ下院一二ノ議員カ勇敢活潑ナル氣象ヲ振起シ昔義德
瓦及力查ノ諸王ヲシテ英國ニハ國王ノ權力ニ勝レル一權
力ノ存スルアリト歎セシメタル議會ニ愧テサル侃々ノ讜
議ヲ發スルニ至レリ

以利沙伯女皇ノ後ヲ承ケ入テ大統ヲ嗣キタル庸主惹迷斯
第一世ノ時ニ方リ英國中自主自由ノ聲ハ益々高ク嗣王查
理第一世ノ時ニ至テ古今比類無キ上下權限ノ大爭鬭ヲ發

生シ顯理王及ヒサイモン侯時代ノ舊劇ヲ再演シ查理王ハ再ヒ干戈ヲ執テ人民ノ衝ニ當リタレ其結局竟ニ王ヲシテ人民ノ權力ハ王ノ權力ヨリ猶強大ナルヲ覺悟セシメタルニ至レリ然リト雖モ十七世紀ノ人民ハ十三世紀ノ人民ノ如ク復タ新設ノ權利權力ヲ要請シタルニアラス唯古昔傳來ノ權利權力ヲ愈鞏固ナラシメンテヲ請求シタルノミ蓋シ當時コノ大争鬪ト並ニ之ニ次ク時代ノ詳細ヲ今此ニ論述スルハ予ノ本主意ニアラサレハ暫ク之ヲ爰ニ略スノ

此ニ至ル迄ハ太古ヨリ「チウドル」家及「斯丟亞爾」の家ノ英蘇兩國

ヲ統御セシ王統ノ名チエームス第一壓制時代ニ於テ危急存一世ヨリチエームス第二世ニ至ル凶ノ秋ニ至ル迄英國憲法ノ起源ト其沿革トヲ論述シタリ是ヨリ以後ノ憲法史ハ稍其趣ヲ異ニシ國憲ノ實體ニ觸ル、ト無ク唯實際ノ作用ニ就テ冥々中ノ變革ヲ述ルモノナリ故ニ予ハ是ヨリ又年紀ヲ逐ヒ輒近ニ至ル迄ノ沿革ヲ續述スルトナリ止メ一旦筆ヲ茲ニ閣シ後卷ニ於テハ既ニ前章ニ特書シタル英國ノ進歩ハ極メテ着實ナルモノナレハ若シ一朝其歩ヲ誤ルコトアルモ再ヒ之ヲ回ラシテ昔時又ハ太古ノ主義ニ回復スルコトヲ得タルノ一點ヲ説明セント欲ス實ニ成文不文ヲ問ハス輒近完全ト稱スル法律ハ復古スル

ニ由テ却テ進歩シ以テ其完全ノ域ニ達シタルモノ多シ故
ニ後卷ニハ實際事實ノ點ヨリ觀察シ封建時代ノ桎梏壓制
ノ法律ヨリ太古自由隆盛ノ時ニ於テ制定シタル自由公明
簡單ナル法律ニ復古シタル條項ヲ逐フテ之ヲ論述セント
欲ス

英國憲法沿革論卷之上畢

明治十六年三月廿九日版權免許

定價金四拾錢

同 年五月 出版

譯者兼出版人

杉本清
東京芝區三丁目
小山町一番地

發兌元 土屋

松井忠兵衛
同芝區柴井町
十六番地

同

珊瑚閣

高橋金十郎
同神田區鍛冶
町十番地

大寶勘書肆

東京日本橋區通一丁目
 同 芝區三島町
 同 日本橋區通三丁目
 同 日本橋區二丁目
 同 京橋區銀座四丁目
 同 日本橋區通三丁目
 同 日本橋區本町三丁目
 同
 同 日本橋區西國吉川町
 同 日本橋區博勞町
 同 日本橋區西河岸
 同 日本橋區吳服町
 同 日本橋區本町二丁目
 同 日本橋區橫山町
 同 芝區三島町

須原屋茂兵衛
 和泉屋市兵衛
 丸屋善七
 山城屋佐兵衛
 博聞本社
 小林新兵衛
 瑞穗屋卯三郎
 金港堂亮三郎
 島屋一介
 森屋治兵衛
 須原鉄次
 奎文堂
 柳川梅治郎
 内藤傳右衛門
 和泉屋吉兵衛

同 芝區三島町
 同 芝區三島町
 同 芝區芝口一丁目
 同 芝區露月町
 同 芝區露月町
 同 芝區露月町
 同 日本橋區本石町二丁目
 同 京橋區南鍋町一丁目
 同 京橋區南傳馬町一丁目
 同 京橋區南傳馬町一丁目
 同 京橋區南傳馬町一丁目
 同 京橋區木挽町一丁目
 同 日本橋區元大坂町
 同 神田區表神保町
 同 日本橋區新大坂町
 同 日本橋區橫山町一丁目
 同 神田區雉子町

萬屋吉兵衛
 内野屋彌平治
 和泉屋善兵衛
 上田屋榮三郎
 米倉屋順三郎
 栗田信太郎
 梶屋喜兵衛
 兔屋誠
 有隣堂
 小林新造
 萬字堂
 法木徳兵衛
 秩山堂
 小林喜右衛門
 出雲寺文治郎
 崑々堂

東京京橋區鎗屋町
 同 京橋區銀座二丁目
 同 京橋區銀座二丁目
 同 京橋區銀座四丁目
 同 京橋區南傳馬町一丁目
 同 日本橋區橫山町
 同 京橋區南傳馬町
 同 淺草區茅町二丁目
 同 日本橋區旅籠町
 同 日本橋區通一丁目
 橫濱辨天通四丁目
 大坂備後町四丁目
 西京寺町四條上ル
 西京寺町通綾小路下ル
 函館大町
 兵庫東出町

大和屋松之助
 開新社
 和泉屋孝之助
 和泉屋喜太郎
 吉川半七
 内田彌兵衛
 中川仁介
 須原屋伊八
 袋屋龜治郎
 大倉孫兵衛
 丸屋支店
 梅原龜七
 田中治兵衛
 川勝徳兵衛
 常野喜兵衛
 大松屋藤兵衛

32
149

